

「森の活人たち」の取り組みをご紹介します！

秩父地域の行政機関及び森林・林業に係る機関など 11 団体から組織される「秩父地域森林林業活性化協議会」では、森林資源を生かした産業の再生を目指しながら、秩父の森林を蘇らせていく活動をサポートしています。

平成 24 年度から実施している「秩父地域森林活用等創出支援事業」では、森林保全・活用を目的とする将来性・持続性のある新たなビジネスプランなどに対して支援を行っています。また、これまでに事業を実施してきた団体を、「森の活人たち」として当協議会ホームページ「森の活人」等で活動内容を広く公開しています。

今回、私たちが作成した本冊子では、平成 26 年度から 30 年度の間、当協議会が支援してきた事業の内容と、現在までの活動状況を一挙ご紹介しています。

秩父で取り組まれている様々な新しい活動に今後もぜひご注目ください！

平成 30 年 12 月 17 日

秩父地域森林林業活性化協議会

も く じ

① 森林施業の集約化、低コスト化等に資する事業

※全事業報告対象外（事業完了後5年以上経過）のため報告書の掲載なし。
※事業名称・団体については巻末の一覧表を参照。

② 森林の循環利用の促進

※全事業報告対象外（事業完了後5年以上経過）のため報告書の掲載なし。
※事業名称・団体については巻末の一覧表を参照。

③ 針広混交林化等の森林整備の推進

※全事業報告対象外（事業完了後5年以上経過）のため報告書の掲載なし。
※事業名称・団体については巻末の一覧表を参照。

④ シカ等の食害対策の推進

※全事業報告対象外（事業完了後5年以上経過）のため報告書の掲載なし。
※事業名称・団体については巻末の一覧表を参照。

⑤ 新たな森林産業への支援

【⑤-1】「林地放置材の集材・現地破碎・現地散布及びブリケット燃料利用検証 試験」株式会社献(H26)	1
【⑤-2】「秩父カエデ酵母菌活用事業」お菓子な郷推進協議会(H26)	2
【⑤-3】「秩父産材木製品開発事業」公益社団法人埼玉県農林公社(H28)	3
【⑤-4】「玩具から墓場までをテーマに「棺桶製造の調査サンプル制作」 - 榿材等の有効活用を考える -」金子製材㈱(H28)	7
「地域材（杉・桧・榿材）を使用した「森の枢」製造流通パイロット 事業」金子製材㈱(H30)	7
【⑤-5】「秩父産材を活用した木工品のPR」秩父銘友会(H27, 28, 29)	8

【⑤-6】「第3のみつ製造のための獣害ネット設置事業」第3のみつ研究会(H27, 28)・・・	9
「秩父産材を使用した西洋ミツバチの養蜂巢箱、継箱の製造」	
第3のみつ研究会(H30)・・・	9
【⑤-7】「秩父農工科学高校食品化学科「農力」育成強化プロジェクト支援事業」	
第3のみつ研究会(H30)・・・	11
【⑤-8】「秩父千鹿谷郷ひなた村特産品開発」秩父千鹿谷郷ひなた村(H27, 28)・・・	13
【⑤-9】「秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動」	
(一社)間伐材ウッドチップ舗装協会(H27, 28, 29, 30)・・・	15
【⑤-10】「秩父産「丸み材」を活用した健康住宅工法「グリーンエア工法」の	
開発」彩の木の家ネットワーク・グリーンエア工法推進グループ(H27)・・・	17
「秩父産適寸丸太による中温乾燥材の開発とニーズ調査」	
彩の木の家ネットワーク・グリーンエア工法推進グループ(H28)・・・	17
【⑤-11】「藍で染めた木の器技術開発」関野木材(H28)	
「藍染木の器の完成へ」関野木材(H29)・・・	19
【⑤-12】「紙漉き技術の伝承とコウゾ(楮)の栽培・増産」	
おがの紙漉き伝承倶楽部(H28, 29, 30)・・・	20
【⑤-13】「NKプロダクツの開発(地元材とアルミによるインテリア雑貨の開発)」	
NKサービス株式会社(H29)・・・	22
【⑤-14】「クロモジの新製品開発に伴うパッケージ及びパンフレットの作成」	
株式会社秩父ハーブ研究開発(H30)・・・	23
【⑤-15】「今年の花粉症対策-針葉樹を使った製品開発」ヨロス国産木材(H30)・・・	24
【⑤-16】「秩父産木材製・卓上織機「ORICCO」手織り教習者養成講座」	
秩父もくもくきかく(H28)【⑦-14】・・・	25
【⑤-17】「林地残材、倒木を活用した木工製品の開発とイベント実施による秩	
父のカエデの普及活動事業」メープルベースクラブ(H28)【⑭-9】・・・	27
【⑤-18】「土佐の森式軽架線集材」導入検討事業」秩父樹液生産協同組合(H29)・・・	28

⑥ 保健・レクリエーション等の森林が持つ機能を有効利用する事業

- ※全事業報告対象外(事業完了後5年以上経過)のため報告書の掲載なし。
- ※事業名称・団体については巻末の一覧表を参照。

⑦ 公共施設や民間住宅等での木材利用の推進

【⑦-1】「特別養護老人ホーム荒川園食堂内装木質化工事」	
社会福祉法人秩父正峰会(H26)・・・	29

【⑦-2】「荒川源流 六角堂ログあずまや造りプロジェクト」	
荒川源流ログハウス技士会(H26)・	30
【⑦-3】「近くの山の木で家をつくろう」株式会社小林建設(H27, 28, 29, 30)・	31
【⑦-4】「秩父材の地元エリアでの活用推進事業」島崎木材株式会社(H27, 28, 29, 30)・	34
【⑦-5】「秩父産木材利用促進・普及啓発事業」一級建築士事務所マツザワ設計(H27)・	35
【⑦-6】「竹内邸新築工事」一級建築士事務所マツザワ設計(H30)・	36
【⑦-7】「秩父産材を活用したフローリング（床材）の作製」	
一條ランバー株式会社(H28)・	37
【⑦-8】「秩父の木を使った家づくり」山中工務店(H29)・	38
【⑦-9】「100年先へ、秩父の元気な森を残そう！！プロジェクト」	
株式会社いのうえ工務店(H29)・	39
【⑦-10】「森を育てる家づくり（秩父産杉・桧をつかった住宅建築）」	
伊佐ホームズ株式会社(H29)・	42
【⑦-11】「みどりの村「村カフェ」」Le plein(ル・プラン)(H29)・	43
【⑦-12】「秩父産材を使用した新築住宅見学会及び広報活動」	
株式会社千葉工務店(H29)・	44
【⑦-13】「オール秩父産木材の住宅（松倉邸新築工事）」	
株式会社大島博明建築研究所(H29)・	45
【⑦-14】「秩父の森のおもちゃ美術館” 秩父もくもくきかく×東京おもちゃ美 術館」秩父もくもくきかく(H26)【⑤-16】	25

⑧ 森林・林業分野における人材育成・雇用への支援

【⑧-1】「担い手の育成事業」秩父広域森林組合(H27)・	49
【⑧-2】「新たな林業展開のための人材育成事業」秩父樹液生産協同組合(H27)・	50
【⑧-3】「森林・林業分野における人材育成・雇用への支援」田口木工(株)(H26)・	51
【⑧-4】「山仕事の人材確保事業」株式会社ウッドイーコイケ(H30)・	52

⑨ 森林整備・山村都市交流の推進

【⑨-1】「掘り起こそう！次世代の森の活人！」ふおれすとキッズよこぜ(H26)・	53
「もっと増やそう！次世代の森の活人！」ふおれすとキッズよこぜ(H27)・	53
【⑨-2】「未来につなぐカエデの森づくり」NPO 法人秩父百年の森(H27)・	54
【⑨-3】「大滝の彩りのある森づくり推進事業」大滝山林振興協議会(H27)【⑭-10】	57
【⑨-4】「カエデの森づくり」カエデの森づくり推進協議会(H26)・	58
【⑨-5】「稲穂山における里山復興事業」秩父山里文化研究会(H26)・	59

【⑨-6】「長瀬の権田山 桜・楓・松林等の森林整備」	
特定非営利活動法人長瀬町桜と松等を守る会(H26)	62
【⑨-7】「野土山あじさいの森づくり推進事業」	
長瀬町花の里づくり実行委員会(H27)	63
【⑨-8】「親子森林環境教育」長瀬やなせ・こびすの会(H27)	65

⑩ 地域産木材の安定供給体制の確立

※実施事業なし。

⑪ 次世代の森林・林業及び山村を支える人づくりを推進する事業

※実施事業なし。

⑫ 森林整備への再投資が可能な森林産業の構築に資する事業

※実施事業なし。

⑬ 森林整備ボランティア育成への支援

※実施事業なし。

⑭ 森林・林業に関連するイベントへの支援

【⑭-1】「ありがとう！300年の松」	
特定非営利活動法人長瀬町桜と松等を守る会(H30)	67
【⑭-2】「秩父の杉人が未来につなげる木挽きの技と心」	
杉・木挽き・規矩観触会(H29)	69
【⑭-3】「秩父の木をみんなで一緒に PR 事業」	
秩父木工フェア&木育ひろば実行委員会(H29)	71
【⑭-4】「秩父産の木材を使用した木製品の生産加工販売」坂本銘木店(H29)	
「秩父産の木材を活かした木製品の PR と販売」坂本銘木店(H30)	72
【⑭-5】「世界に向けた秩父材製&秩父生まれの木のおもちゃの PR」	
ツグミ工芸舎(H29)	74
【⑭-6】「西武グループスマイルファミリーフェスティバル 2017」	
西武鉄道株式会社(H29)	75
【⑭-7】「西武グループスマイルファミリーフェスティバル 2018」	
西武鉄道株式会社(H30)	75, 77
【⑭-8】「秩父・市民参加型伐採プロジェクト」	
秩父・市民参加型伐採プロジェクト協議会(H30)	79

【⑭-9】「秩父のカエデと木育の普及活動事業」メープルベースクラブ(H29, 30)	
【⑤-17】	27
【⑭-10】「カエデの植栽イベント事業」大滝山林振興協議会(H29, 30)【⑨-3】	57

<付属資料>

実施団体別一覧表

秩父地域森林活用等創出支援事業補助金交付要綱・同細則

※活動状況報告書等が未提出の団体は掲載していません。(H30.12.17 現在)

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

林地放置材の集材・現地破碎・現地散布及びブリケット燃料利用検証試験(H26)

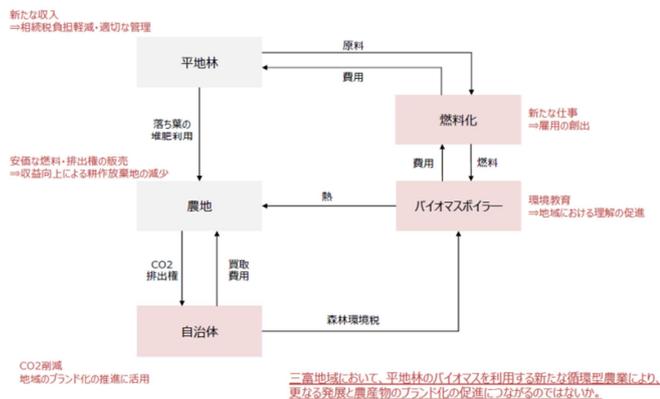
団体名:(株)献

事業の目的・内容

林業作業道造成及び切捨て間伐により林地放置されている材を集材・現地破碎してチップ化し、枝葉は作業道へ散布、幹部チップはブリケット燃料化する。

今までの活動状況

木質系燃料（薪＝ブリケット・チップ・ペレット）の農業利用紹介



小規模向け：薪

- 薪を一定量投入し、燃焼ガスをハウス内に排出する。(制御なし)
- ボイラー単価：非常に安価
- 燃料単価：高価

小～中規模向け：ペレットタイプ

- ペレットを燃料とし、ガンバーナーの燃焼ガスと空気を熱交換することで温風を生成。
- ボイラー単価：安価
- 燃料単価：非常に高価

固定床タイプ

- 固定された炉にペレットが供給され、燃焼ガスと空気の熱交換により温風を生成。
- ボイラー単価：高価
- 燃料単価：非常に高価

中・大規模向け：チップ固定床タイプ

- 固定された炉にチップが供給され、燃焼ガスと空気の熱交換による温風を生成する。
- ボイラー単価：非常に高価
- 燃料単価：安価

複数棟向け：チップ固定床タイプ（温水）

- 固定された炉にチップが供給され、燃焼ガスと水の熱交換による温水を生成し、各施設へ配管で送る。
- ボイラー単価：非常に高価
- 燃料単価：安価

これからの活動・行事

秩父郡市内で地産地消可能な木質バイオマスの利活用を調査・研究し、普及活動をしていきます。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父カエデ酵母菌活用事業 (H26)

お菓子な郷推進協議会

事業の目的・内容

秩父カエデ酵母菌（※）を活用し、埼玉県産パン小麦（ハナマンテン）、埼玉県産菓子用小麦（里のそら）を用いて、新商品開発及びチラシ・パンフ・ポスター・表示ラベルを作成し、展示会（平成 27 年 2 月開催 農と食の展示・商談会 埼玉県農商工連携フェア）へ出展し、新たなる顧客の開拓を行う。



今までの活動状況

平成 30 年度 カエデ酵母菌+イースト菌での発酵実験を実施したが、目標とする発酵状態になる事が出来ず、実験中止する。

これからの活動・行事

発酵を阻害している物が何か？
なぜ、発酵力が弱いのか？ 検証を行う。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父産材木製品開発事業 (H28)

公益社団法人埼玉県農林公社

事業の目的・内容

秩父産材オリジナルの木製品を開発し、木の良さを知っていただき、秩父地域での木材利用促進を図る。

試作した木製品は、秩父旅館業協同組合員宿泊施設に無償で配布を行い、宿泊施設等利用者に秩父産材の木製品PRを積極的に行い、訪れる方々が秩父地域の森林・林業に関する理解を深めるとともに、身近に木に触れることで木の魅力や興味を持ち木材利用の促進に繋がることを目的とする。

今までの活動状況

〈平成 28 年度〉

H28. 11 月 宿泊施設等に秩父産材木製品に関する調査を実施

H28. 11 月末 木製品に関する調査の取りまとめ

H28. 12 月～ 試作品のデザイン提案・決定・製作

(写真左：香木挿し 右：ツインボックス)



H29. 2 月 完成した試作品を宿泊施設 (35 件) に配布、展示・使用

H29. 3 月 意見・感想を聴収

〈平成 29 年度〉

H29. 4 月～ 埼玉県森林科学館 (秩父市中津川) での展示・販売

〈平成 30 年度〉

H30. 5 月～ 「駅祭と (エキサイト) 浦和美園」「秩父の山の木フェア (東京)」などのイベントでの展示・販売



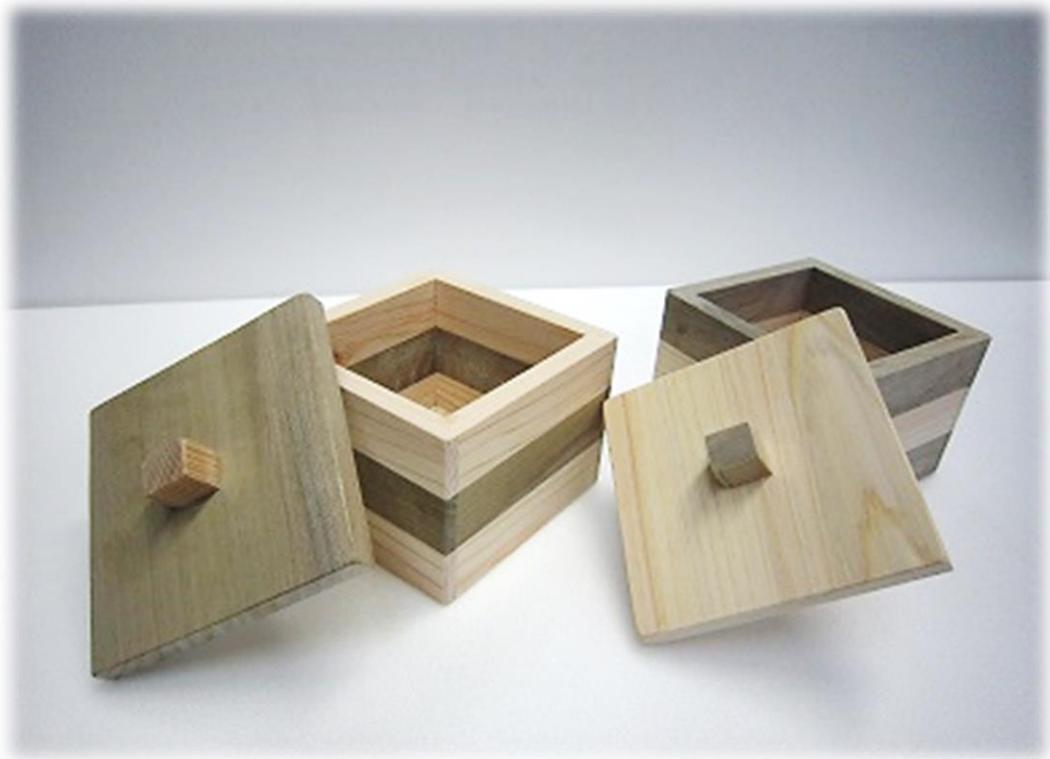
これからの活動・行事

地域材利用や木育等、地域の自然体験イベントでの展示や新たな木製品開発と販売に取り組みます。



ツインズボックス

木製小物入れ
お洒落で実用的な木製品で空間アレンジ



販売価格（税込） 1セット 2,500円

- ・材 質・・・檜ひのき & 朴の木ほおのき
- ・大 き さ・・・100mm×110mm×130mm内外

この製品は「H28秩父地域森林活用等創出支援補助事業」の助成を受けて開発したものです。

製品の取扱い上のご注意

- ◆火に近づけるなど、危険な使用がされないよう十分注意してください。
- ◆万が一製品が破損、分解した際には誤飲、怪我の恐れがありますので使用を中止してください。
- ◆汚れが付いたときは、きつく絞った布で水拭きし、風通しの良い日陰で完全に乾かしてからご使用ください。
- ◆乾燥、湿気を避けて保管してください。
- ◆木は柔らかいため傷つきやすいので、大切に使いましょう。
- ◆節や黒い変色があるものがございますが、木が成長の過程で出来たもので、一つ一つ木の個性です。品質に問題ありませんのでご安心ください。
- ◆天然木を使用しています。時間と共に少しずつ変化する木の風合いをお楽しみください。

製品に関するお問い合わせは

公益社団法人埼玉県農林公社 森林局

〒368-0034 秩父市日野田町1-1-44

TEL 0494-25-0291

e-mail ssinrinp@chichibu.ne.jp

H30初版（18'5）

香木挿し

寄木風・檜ひのき香る
くつろぎ・癒しの空間をデザイン

(使用方法)

挿し棒先端の中心部分の中綿にエッセンシャルオイル等を含ませて森林の香りを楽しむ



販売価格（税込） 1,500円

- ・材 質・・・檜ひのき & 朴の木ほおのき
- ・大 き さ・・・50mm×50mm×280mm内外

この製品は「H28秩父地域森林活用等創出支援補助事業」の助成を受けて開発したものです。

製品の取扱い上のご注意

- ◆火に近づけるなど、危険な使用がされないよう十分注意してください。
- ◆万が一製品が破損、分解した際には誤飲、怪我の恐れがありますので使用を中止してください。
- ◆汚れが付いたときは、ぎつく絞った布で水拭きし、風通しの良い日陰で完全に乾かしてからご使用ください。
- ◆乾燥、湿気を避けて保管してください。
- ◆木は柔らかいため傷つきやすいので、大切に使いましょう。
- ◆節や黒い変色があるものがございますが、木が成長の過程で出来たもので、一つ一つ木の個性です。品質に問題ありませんのでご安心ください。
- ◆天然木を使用しています。時間と共に少しずつ変化する木の風合いをお楽しみください。

製品に関するお問い合わせは

公益社団法人埼玉県農林公社 森林局
〒368-0034 秩父市日野田町1-1-44
TEL 0494-25-0291
e-mail ssinrinp@chichibu.ne.jp

H30初版 (18'5)

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

玩具から墓場までをテーマに「棺桶製造の調査サンプル制作」
 - 樫材等の有効活用を考える-(H28)
 地域材(杉・桧・樫材)を使用した「森の柩」製造流通パイロット事業(H30)

金子製材株式会社

 事業の目的・内容

現在、日本の木材の蓄積量は約 50 億立米と言われる迄に増加しています。秩父地域に於いても同様に「木材は植えて育てる時代から切って使う時代」へと変わってきています。そこで、今後多くの出材が期待される秩父材の有効利用と地場産業の開発を考え「柩の製造」に着手しました。

伐採される木材はシベて使うこと現在、1 年間に日本で消費される柩の数は約 120 万本、その殆どを中国からの輸入に頼っています。

 今までの活動状況

平成 28 年 8 月 30 日

長野県伊那市へ唐松製の棺桶見学

平成 28 年 9 月 7 日

秩父広域火葬場、第 1 回棺桶燃焼試験実施

平成 30 年 2 月 24 日

木育サミット棺桶展示

平成 30 年 2 月 28 日

朝日新聞「天声人語」に取上げられる

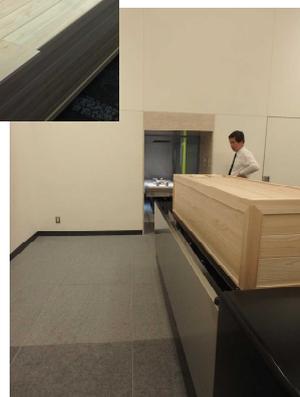
平成 30 年 5 月 17 日

秩父広域火葬場、第 2 回棺桶燃焼試験実施

平成 30 年 6 月 18 日

NHK ラジオで放送される

上記以外、日刊木材新聞掲載、秩父ロータリークラブ、金仙寺、秩父警察署等で P R 活動



 これからの活動・行事

今後は、パイロット事業として数本程度無償提供させて頂きながらご家族より意見をお聞きするなどしながら秩父柩のブランド化に向けて活動する。その為に、今年度中に商標登録、コンサルタントによる販売方法の検討、その後関東地域の葬儀関係者を交えて検討してゆきたい。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父産材を活用した木工品の PR (H27,28,29)

秩父銘友会

事業の目的・内容

秩父産材の需要を広める。
イベントに参加して秩父産材の木工品を大勢の人に見て触れてもらい魅力を知ってもらう

今までの活動状況

- 10月20～21日「秩父はんじょう博」(ミュージックパーク)
- 10月25～26日「秩父の山の木フェア」(東京日本橋)
- 11月10～11日「木が香る秩父フィスティバル」(道の駅ちちぶ)

秩父産の木工品のPRをしました

観光客を中心に秩父地域以外の人にも木製品の良さを伝えることができました。



これからの活動・行事

今後も多くのPR活動、秩父の木材を使用した新しい商品の開発をしていきます。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

第 3 のみつ製造のための獣害ネット設置事業 (H27・H28) 秩父産材を使用した西洋ミツバチの養蜂巣箱、継箱の製造 (H29)

団体名: 第 3 のみつ研究会



事業の目的・内容

秩父農工科学高校と引き続き研究を行っており、秩父の森林からの豊かな蜜源を利用して、長瀨町を拠点に大滝方面まで移動しながら、様々な果汁と自然の蜜を融合させた新しいみつの試作品が出来ています。その恵みを多くの方々に届ける事ができています。長瀨町、大滝地区の蜂場には天敵の鹿、猪、熊が出没しているにもかかわらず電柵の獣害ネットがしっかりと設置されていません。この事により、蜂場の環境が安全に保たれていません。電柵の設置により、より安定的に「第 3 のみつ」が製造できるようにしたいと思います。地域特産品作り推進事業として「第 3 のみつ」の新商品開発を行なっています。

養蜂は、農業においてポリネーション(受粉)としての需要が多く、蜂蜜増産のためにも蜂群を増やす必要があります。このために蜂箱を製造することで、蜂群を増やすことができます。秩父産のサワラ材、スギ材や間伐材で西洋ミツバチの蜂箱を製造することで、秩父地区の間伐材、放置された間伐残材を整理しながら、製材した板で、製作した西洋ミツバチの蜂箱は蜂群の増産に役立ち、蜂箱の組立キット商品を全国へ販売することで秩父産サワラ材のブランド化を高め、秩父地域の経済効果が高まる。



今までの活動状況



長瀨地区も農作物のイノシシ、シカによる獣害は毎年発生しています。毎日のように周囲をイノシシがミミズ掘りをしているので油断はできません。電柵の設置のお陰で侵入を防ぐことが出来ているので、蜂群には影響がありませんでした。11月の午前9時、長瀨蜂場で作業中に体長 70-80 セン

チのイノシシが目の前を通り山へ帰っていくのに遭遇しました。周りのニセアカシアの木はシカによる

食害を受けています。

大滝地区の旧大滝小学校の校庭に蜂群を設置して電柵の効果を確認してみました。お陰様でクマやイノシシなどの獣害は無く。電柵の効果と、この地区の森林が蜜源の宝庫として確認できました。森林養蜂は日本中の山林近くにある廃校を活かし、自然環境を知る良い指標となる。



ハチミツを作る条件は蜂群と蜜源がともに豊かである必要があります。平成29年度は、蜂群を増やす事を先行して、蜂箱の製造を秩父の木で製作し、その中に蜂群を増やしていく計画でした。



大滝地区(2016.11~2017.3 伐木)産出サワラ原木を一年間乾燥させ、秩父地区の製材所にて製材した材を、廃校となった旧大滝小学校を利用し乾燥させ歪みを少なくし、教室を利用した木工工作室で、西洋ミツバチの蜂箱(巣箱・継箱セット)を2箱と、巣箱・継箱組立キットパーツ2組を製造しました。

空箱の屋外試験を経て、今年5月頃から蜂群を製作した箱へ移しました。最初は少しカビなどが発生しましたが、自然に無くなっていきました。蜂箱としての試験は二年間の風雨に対するデータが必要と思います。サワラの水に強い事は知られていますが、乾燥による耐久性を検証したいと思います。組立っていないパーツは乾燥により反ったり、歪みが生じないか検証を続けています。



これからの活動・行事

秩父地域は、大消費地東京近郊の蜂場として、森林を蜜源として活用できる。旧大滝小学校校舎内に秩父樹液生産協同組合の事務所、家具職人の工房等で大滝地区の活性化に努めている人達に協力する活動を行う。廃校の校舎、グラウンドを蜂場として活用した「第3のみつ」研究を通して、蜂群の育成と蜂箱を実用しながら秩父産サワラ材の蜂箱に改良を重ねより良い箱作りの活動を行う。長瀬地区以外に森林養蜂の活用が出来る場所の確保活動を行う。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

秩父農工科学高校食品化学科「農力」育成強化プロジェクト支援事業 (H30)

団体名: 第 3 のみつ研究会



事業の目的・内容

第 3 のみつ研究会は、秩父農工科学高校食品化学科の地域特産品作り推進事業の中で始まる。秩父地域の森林から得られた「カエデ樹液」にミツバチが群がることが発見され、埼玉大学等と共同研究している「第 3 のみつ」は、新しいカテゴリーの蜂蜜として誕生しました。山林を蜜源とする森林養蜂は県教育局が 2018 年度から進める「高校生の『農力』育成強化プロジェクト」の一環として「第 3 のみつ」の新しい製造技術と特産品の開発に取り組む同校を支援し、国際的に通用する GAP 認証取得や東京オリンピック等における食材提供を目指す。同校が大学と共同で製造特許を持つ「第 3 のみつ」を製造し、機能性を高める研究を行い、地域特産品の開発を図る。



オリンピックやり投げ候補選手、新井涼平は、2014 年仁川アジア大会銀メダリスト。現在日本歴代 2 位の記録保持者。長瀬町出身。長瀬中学校・皆野高等学校・国士舘大学卒業。東京オリンピックに向けて新井選手へ高校生の製造チャレンジする機能性ハチミツ、「第 3 のみつ」を提供する。秩父農工科学高校食品化学科の地域特産品作りを支援し、国際的に通用する GAP 認証取得や東京オリンピック、パラリンピック等における食材提供を目指す。(埼玉新聞 2018.5.29)



今までの活動状況

秩父農工科学高校食品化学科の生徒さんから提供されたトマトジュースを小鹿野町の戸田乳業の協力を頂き、ホモジナイザー(不溶性物質(液滴や軟質固体)を微粒化し、液中に均一に分散させて安定な懸濁液を作る装置)を使用した。トマトジュースの中にあるリコペン(リコピン:健康に良い成分があるといわれている)は水に溶けないためホモジナイザーを利用して、ジュースの微粒化を試みた。

しかし、右の写真の様にまだ、ケチャップ状態である。これを濾している。



2、3日は濾したトマトジュースは流動性を保つが、その後は蜂箱の中で固まりミツバチがストローで吸い込むことが出来なくなる。また、西洋ミツバチはトマトの花も好まない様で訪花しないといわれている。味付けなどの工夫が求められる。





長瀬蜂場で試験をしているトマトジュースを採蜜し、埼玉大学科学分析支援センターの藤原隆司先生に依頼し、高校の生徒は大学にて成分分析を行いました。

期待したよりもわずかな量のリコピンでしたが、ハチミツに転嫁していました。どうすれば、サラサラなジュースが作れるか課題が出来ました。イチゴとブドウのジュースも準備していましたが、蜂群の用意が8月となりトマトだけに集中することにしました。

平成30年10月13日の秩父サイエンスアカデミーにおいて、秩父農工科学高校食品化学科の二名は「第3のみつ」の機能性について発表を行う。



これからの活動・行事

平成31年度はイチゴ、ブドウジュースの試験とトマトジュースのサラサラジュース開発を進める。高校に設置された糖分析器を活かし、「第3のみつ」の分析を詳しくする。

秩父の豊かな森林の蜜源と機能性のあるジュースを利用したエサによる「第3のみつ」の新しい製造技術と特産品の開発に取り組み、秩父農工科学高校食品化学科を支援する。

長瀬地区以外に森林養蜂の活用が出来る場所の確保活動を行う。

平成 30 年度秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父千鹿谷郷 ひなた村 特産品開発(H27,28)

千鹿郷 ひなた村



事業の目的・内容

限界集落に暮らす人々のグループ「千鹿谷郷 ひなた村」の持っている知恵・技術などを活かし、“いなか”の奥深い文化の香りのある食材「山椒」等を利用した特産品を開発、ブランド化することにより地域の活性化を図る。山椒の木の育成から若い芽の生産および地元PRを行う。



今までの活動状況

○前年度末までに植えた山椒の木の管理・育成

千鹿谷、荒川の畑で除草、刈り払い、割竹支柱の作成・取付、アゲハ幼虫・鹿の食害、芯喰い虫の点検・防除等を実施した結果アゲハ幼虫・鹿の食害はなし。活着率は前年度まで植栽の173本の約53%が順調に生育中。活動延日数28日。活動人数延210人。



順調に生育中の山椒



芯喰い虫の幼虫 6月



スプレー式殺虫剤を穴に吹き込む

○次年度以降の苗の育成

千鹿谷に於いて、今年2月にトレーに播種し、密集状態で発芽・生長した苗を6月にポットに移植した。さらに9月にポットから育苗畑に移植した。幼苗の風害を防止するため全数割竹の支柱を取り付けた。アゲハ蝶の幼虫の食害を防ぐためネットで覆った。この結果今年発芽の苗は500本以上となり高さ30cm以上に育っている。



トレーで密生した実生の発芽 4月



ポットに植え替え 5月



遮光ネット張り 8月 移植 9月

・来年用種の確保.. 9月14日、530ml、約4000粒

○山椒佃煮の試作会

4月21日.. 24名参加 (前回NO4で報告済)

○柚子の果汁搾り体験会

11月24日、古木の柚子を個摘み取り、千鹿谷の隣の小鹿野町みどりの村若者センターで、28名が参加して、会員手作りの搾り機を使い約12ℓの果汁を搾った。参加者は各人200mlをガ

ラス瓶に詰め持ち帰った。この他に絞ったあとの皮を活用した「ゆずジャム」、種を活用した「化粧水」も作り持ち帰った。

*この活動はNPO法人「秩父100年の森」の連携し実施された。



ゆずの収穫

水洗い

搾り

容器に詰める

これからの活動・行事

事業の継続

○山椒の木の管理・育成

- ・割竹支柱の交換兼枝の誘引ならびに剪定.. 冬期に実施
- ・育成中苗の点検・観察.. 来春まで定着状況を観察、必要により防寒・防風対策を実施
- ・冬期防除.. 12月膏薬病防止のため石灰硫黄合剤の散布

○次年度以降の新苗の育成

- ・種の播種 31年2～3月に苗床、ポットを準備し3月初旬に種蒔き。
- ・接ぎ木の研修、実施 31年3月。

○補植

- ・千鹿谷地区の枯れ死苗の補植を31年3～4月に64本。

○2年生苗の本植

- ・荒川の畑に31年3～4月に60本の植付

○生産畑の拡大検討

- ・荒れ地の刈り払い整備、山椒畑地としての適否確認



昨年の割竹誘引例



次年度予定地の刈り払い



平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動(H27~30)

社)間伐材ウッドチップ舗装協会

事業の目的・内容

ウッドチップを使用した遊歩道作成の特許技術を、一般的な施工技術として普及させることにより、秩父産の木材の安定的な利用を図る。当協会構成員が主体となり、地方自治体や企業、各種団体を対象に施工講習を行うことにより技術の普及活動を行い、秩父産の木材を使用できる窓口を関東中心に全国規模に拡大する。また、普及促進のために材料費の廉価化の研究を行う。

今までの活動状況

<平成 27 年度>

小鹿野町長留の敷地内で草刈、区画分け、材料保管場所の確保等の整備し、建物内の整備を中心に行い施工講習が行える環境を整えた。同時に施工現場での施工講習を通して、普及活動の実績を作れた。

<平成 28 年度>

千葉南房総と埼玉県三郷市、東京都青梅市で計 3 度の施工講習を実施、また、秩父小鹿野倉庫では 2 度実施。合計 5 回の施工講習を実施した。施工講習が行える環境を整え、講習の技術指導方法をまとめ、実施体制の確認とテキストの作成を終えた。



<平成 29 年度>

静岡県冷川市で施工講習を実施。埼玉県産の木材を静岡の施設で、環境性能の高い遊歩道として有効活用をした。また、白岡市で 1 度の試運転と小鹿野町の倉庫敷地内での施工実験を 1 度実施。自社小鹿野の敷地内で施工講習を行いたいのだが、他地域の施工業者は秩父に来ることを好まないようで、実地での講習は実施できなかった。



<平成30年度>

東京都で行われた育樹祭に採用され施工実績を残す。また淡路島の国立公園で施工・施工講習を行い、初の国立公園内での施工実績となった。



淡路島国営明石海峡公園

育樹祭（東京都）中央防波堤外側埋立地

これからの活動・行事

韓国のチョンブ市と連携しながら、海外進出の可能性を模索している。チョンブ市長はじめ、農林担当課長が来日し、過去の施工実績を見学した。秩父のスギ・ヒノキ材の輸出も法律上問題ないことを農林水産省で確かめたので、残る課題は価格の問題となっている。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発 (H27,28)

彩の木の家ネットワークグリーンエア工法開発グループ



事業の目的・内容

この事業の目的は、柱をとった後の「丸み材」の有効利用により、木取りの歩どまり率を上げることで、木材の有効利用を進めることです。また、接着剤を使用した構造用合板を使用せずに合板と同様の耐力を実現する斜め張り工法の開発を目指しています。



今までの活動状況

<平成 27 年度>

秩父産「丸み材」を活用した健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発

「床斜め張り工法」の斜め張り部材（幅 120mm×厚 30mm×長 4000mm）について、柱をとったあとの秩父産「丸み」材（幅 105mm×厚 30mm×長 4000mm）を活用した試験体を 3 体制作し、せん断破壊試験を実施し、耐力データを収集しました。

<平成 28 年度>

グリーンエア工法の開発（その 2）秩父産適寸丸太による中温乾燥材の開発

付加価値向上が期待できる平角材(*)を対象に適寸丸太による中温による試験乾燥を実施し、吸放湿性、香り、表面構造への影響、割れ、含水率、ヤング率などの品質を検証しました。

<平成 29 年度>

斜め張り工法の開発については、試験結果の報告会開催 1 回及び工法改善のための研究会の開催開催 2 回（於て：職業能力開発総合大学校）。また、斜め張り工法の手引きを作成し、登録工務店の募集を開始。さらに、グリーンエア工法を使用したモデル住宅の開発に着手しました。

<平成 30 年度>

グリーンエア工法を使用した住宅モデルのカタログを作成し、一般消費者に配布を開始。また、設計事務所向けに工法説明セミナーを実施（1 回）しました。

斜め張り工法の改善のための研究会を開催（1 回）し、屋根斜め張り工法の改良（屋根断熱型厚板直張り現し工法）に取り組みました。



これからの活動・行事

- ・斜め張り工法の改良に引き続き取り組みます。（職業能力開発大学校と共同研究）
- ・グリーンエア工法を採用した住宅の建設に取り組みます。
- ・工務店向けにグリーンエア工法の普及に取り組みます。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

藍で染めた木の器技術開発 (H28) 藍染木の器の完成へ (H29)

関野木材



事業の目的・内容

木の器を藍で染めた器を完成させる。



今までの活動状況

5月12日・13日「木が香る秩父フェスティバル」道の駅ちちぶ

10月25日・26日「秩父の山の木フェア」東京日本橋

11月10日・11日「木が香る秩父フェスティバル」道の駅ちちぶ

上記イベントのほか、新しい展示会・販売など活動中。



これからの活動・行事

加工技術もよくなってきたため、今までの展示・販売会はもとより販売にさらに力を入れていきたい。
また、草木染の団扇を検討中である。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

紙漉き技術の伝承とコウゾ(楮)の栽培・増産(H28,29,30)

おがの紙漉き伝承倶楽部

事業の目的・内容

1. 伝統的な紙漉き作業
2. 原料となるコウゾの栽培・増産
3. 紙漉き用具（カヤ簀）の製作技術の習得
4. 紙漉き用具（全般）の調達・作成

今までの活動状況

1. 平成 30 年 2 月、伝統的な紙漉き（※前年度の事業です。参考のため）
2. コウゾの栽培
 - H30. 05. 09 コウゾ畑草刈り／1 回目（高齢者事業団委託）
 - H30. 07. 03 コウゾ畑草刈り／2 回目（高齢者事業団委託）
 - H30. 08. 07 コウゾ畑施肥
 - H30. 09. 06 コウゾ畑草刈り／3 回目（高齢者事業団委託）



3. カヤ簀作成のためのヌマガヤ採取

H30. 11. 16 群馬県赤城覚満淵



ヌマガヤ採取 H30.11.16



ヌマガヤ採取 H30.11.16

4. その他

- ・ H30. 08. 27 勉強会（越前奉書紙のビデオを観る）
- ・ 広報用パンフレット作成依頼（国井デザイン）
- ・ カジキの時使う甑作成依頼（高橋板金）



これからの活動・行事

1. コウゾ伐り・カジキ 予定：H31 年 1 月 26 日～27 日（予定表参照）
2. 伝統的な紙漉き 予定：H31 年 2 月 23 日～24 日（予定表参照）
3. コウゾ畑管理（根切りなど）H31 年 2 月～3 月
4. 紙漉き用具の調達

今年度も下記日程で紙漉きを行います。万障お繰り合わせの上、ご参加・ご見学ください。

月・日（曜日）	内 容	時 間	場 所
平成 31 年 1 月 26 日（土）	コウゾ伐り・カジキ準備	13:00～16:00 頃	町役場集合
※町役場に集合し、数カ所でコウゾ伐りをおこない、馬上児童館に運び、準備する			
1 月 27 日（日）	カジキ 伐ったコウゾの皮剥き	09:00～16:00 頃	倉尾児童館
2 月 2 日（土）	カゾ引き コウゾのクソツ皮（甘皮）剥き	09:00～12:00 頃	学童クラブ遊 <small>ゆう</small>
2 月 23 日（土）	紙漉き	09:00～16:00 頃	倉尾児童館
2 月 24 日（日）	紙漉き・紙干し	09:00～16:00 頃	倉尾児童館
2 月 25 日（月）	紙干し・予備日	09:00～12:00 頃	倉尾児童館
※紙干しは天日干しのため、特に天候に左右されます。			

- ・ なお、天候等により変更される場合があります。
- ・ 参加・見学を考えている方は、下記山中までご一報下さい。

山中正彦

電話：0494-79-0492（自宅）

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

NK プロダクツの開発(地元材とアルミによるインテリア雑貨の開発)(H29)

NK サービス(株)

事業の目的・内容

- ・ 自社事業の多角化・活性化を目的とし、関係会社から排出されるアルミ材を使用した物づくり事業へと展開。
- ・ 秩父材を木台としたインテリア時計を試作製作。
- ・ H30. 7 月 20 日(金)クラウドファンディングを活用した公募を開始した。(H30. 9 月 28 日終了)

今までの活動状況

- ・ H30. 5 月 19 日(土)～20 日(日)森のおもちゃ美術館出店。
- ・ H30. 7 月 20 日(金)～H30. 9. 28(金)クラウドファンディング(マクアケ)で公募、32 件/340,000 円。
- ・ H30. 10 月 14 日(日)埼玉スーパーアリーナでの展示会参加(コープ未来フェスタ)。
- ・ H30. 10 月 18 日(木)～リビングセンターオゾン、ピックアップギャラリーへ展示 11 月 11 日(日)。
- ・ H30. 10 月 25 日(木)日本橋プラザビル広場、秩父の山の木フェア展示会参加。
- ・ その他、ホームページ等で一般ユーザーへの情宣・営業活動を開始。

※日本橋・秩父の山の木フェア参加



これからの活動・行事

- ・ H30. 11 月 15 日(木)買いまっせ! 売れ筋商品発掘一(大阪商工会議所)参加。
- ・ 新宿リビングセンターオゾンの次期(11 月 15 日(木)～12 月 9 日(日))も延長展示。
- ・ 百貨店、通販、専門店、ホテル、建築関係等の業種への営業を展開して行く。
- ・ 都内を中心に、無料ギャラリーを調査し展示してもらう。
- ・ 今後とも、積極的に展示会への参加を推進して行きたい。

平成30年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

クロモジの新製品開発に伴うパッケージ及びパンフレットの作成(H30)

株式会社 秩父ハーブ研究開発



事業の目的・内容

新製品開発に伴って、新規顧客開拓や販売促進のための新商品パッケージ並びに販促のための商品リーフレットを作成することを目標にします。



今までの活動状況

販売先担当者との打合せ（6／19 11／29） パッケージ・リーフレットデザイン、製造数など
10月 クロモジ伐採 採集
11月 本年度のクロモジ精油抽出作業開始（長瀬の工房）



これからの活動・行事

12月18日（火）に商品製造委託先との打合せを予定
1月～2月 新パッケージ・リーフレット作成

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

今年の花粉症対策、針葉樹を使った製品開発 (H30)

ヨロズ国産木材



事業の目的・内容

当事業では秩父の針葉樹を使い、まな板や弁当箱、テーブル、鉢植え、木製小物など、デザインの良いものを極力手間を掛けない製法で製作し、海外製の安価な木製品ほど安くはできずとも、現状にある匠の技風の高級な木製品より安く、ユーザーの求め易い価格で販売し、針葉樹を使う事による、山の整備、わずかであろうとも花粉症の減少、極力手間の掛けない安易な作り方による木工経験のあまり無い者でも仕事が出来る状態を作り、人口減少の山間部に新たな移住者が来やすくする状況を目指します。



今までの活動状況



大滝産サワラ材を使用し、ベンチ、鉢植え、まな板弁当箱などを製作

平成 30 年 10 月 27～28 日 所沢市民フェスティバルに出展

11 月 4 日 所沢市内オオタカの森アラルフェスティバルに出展



これからの活動・行事

平成 31 年度も、所沢市民フェスティバル、アラルフェスティバル共に出展予定、他イベントも視野に入れる。

大滝の喫茶 ヒトツムギ 三峰ちどりやにて 木製品を展示販売、既存製品拡販を目指し、新製品開発を続ける。

平成30年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

【秩父産木材のソフト面での利用と認知促進】

秩父の森のおもちゃ美術館”秩父もくもくきかく×東京おもちゃ美術館(H26)

秩父産木材製・卓上織機「ORICCO」手織り教習者養成講座(H28)

秩父もくもくきかく



事業の目的・内容

秩父産材・人材・技術からなる、秩父らしい木のおもちゃや遊びと、伝統工芸や文化がつながる関連イベントの企画及び該当物を製作をするプロジェクト。

秩父太織伝統工芸士と共同開発した卓上本格織機「ORICCO（おりっ こ）」で地元の伝統工芸技術を学び、秩父産材織機の製作機会の増加、各教習講座修了生がワークショップの展開。



今までの活動状況

平成30年

2月

2/11「木育キャラバン in 秩父（秩父市役所・秩父市）」

2/16&17「ちちぶ あそびの長屋 やまもり（秩父市）」 ORICCO 実演&体験 毛糸のトラスマッタ

2/24「ミニ木育キャラバン in ちちぶ（秩父市役所・秩父市）」

インタビュー記事掲載 「ちちぶ 森の活人（ウェブサイト）」活動について

4月

インタビュー記事掲載 「西武鉄道ニュース「Cocotto」「沿線輝き woman」活動について

5月

5/5 「ちちぶ あそびの長屋 やまもり（秩父市）」ORICCO 展示&実演

5/20 「井のいち（練馬区）」ORICCO ワークショップ&展示【写真①】

6月

6/5「おもちゃコンサルタント養成講座講師（東京おもちゃ美術館・新宿区）」

6/17「ミニミニ木育キャラバン」（大畑幼稚園・秩父市）【写真②】

ORICCO の誕生～現在の活動等交えて講義：テーマ「おもちゃ開発論～アイデアがカタチになるまで」

8月

8/19「ORICCO ワークショップ ムクゲ自然公園（皆野町）」草木を織り込むタペストリー作り【写真③】

11月

秩父の森ジャンボリー（MAPLE BASE・小鹿野町）



写真①



写真②



写真③



これからの活動・行事

平成31年～ 【ちちぶあそびの長屋やまもり】

年に4回程度、昨年に引き続き秩父市内の長屋にて、木のおもちゃで遊ぶイベントを開催。その際に、秩父の木で作られたおもちゃ&道具として、ORICCOの展示と体験会ワークショップをイベント開催毎に設定する。年齢を問わず、秩父の木を通して遊んで楽しみながら、秩父の歴史文化・伝統工芸に触れていただく機会にしていきたい。

今後は更に、企業や施設等との連携を深め周知に努めたい。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

林地残材、倒木を活用した木工製品の開発とイベント実施による秩父のカエデの普及活動事業(H28)
秩父のカエデと木育の普及活動事業(H29,30)

メープルベースクラブ

事業の目的・内容

メープルベースクラブは、秩父ミュージックパーク内にある「MAPLE BASE」のスタッフが中心となってきた組織です。

秩父のメープルの活動をより多くの人に知っていただくために、MAPLE BASE でイベントやワークショップなどを企画していきます。

今までの活動状況

H30 年 11 月 3 日にイベント「秩父の森ジャンボリー」を MAPLE BASE にて盛況のうちに終了しました。参加者は約 3000 名程で、各イベント協力団体との連携も含めて、大成功だったと言えます。



これからの活動・行事

現在、イベントを終えて、各団体との精算やイベントの効果を検証しています。12 月中には事業報告書を提出できる見込みです。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

「土佐の森式軽架線集材」導入検討事業 (H29)

秩父樹液生産協同組合

事業の目的・内容

比較的低コストで始められる集材方法である「土佐の森式軽架線集材」を視察し、実施体制や経営状況を調査する。

今までの活動状況

平成 29 年 11 月 11 日、高知県香美市にある甫喜ヶ峰公園にて行われた土佐の森式軽架線実習に参加し、軽架線集材を行っている様子を視察した。また、12 日、同日高村にある木の駅ひだかの NPO 法人土佐の森・救援隊事務所へ訪問し、取り組みについて話を聞くことができた。

一般的に、山林で行われている集材方法には、林内に作業道を整備し、丸太を掴むグラブの付いたトラクタを走らせ集材する車両集材と、スキー場のリフトのように、ワイヤーを使って丸太を引き寄せる架線集材とがあるが、どちらの方法も大型の重機と専門的な資格や技術を必要とする。

しかし、土佐の森式軽架線集材では小型の林内作業車を用いて行うため資格等は必要無く、マニュアルを理解しそれにしたがって行えば誰でも安全に作業できる。その為、森林ボランティア団体など間伐や集材を専門としない団体や、比較的安価な初期投資で集材を行いたい団体が導入するのに適した集材方法であると考えられる。



これからの活動・行事

今後も効率的かつ比較的安価な集材方法について検討を行っていく。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

特別養護老人ホーム荒川園食堂内装木質化工事 (H26)

社会福祉法人秩父正峰会



事業の目的・内容

食堂の天井と腰壁を秩父産木材で内装木質化することにより、木材の持つ生理的リラックス効果を体験してもらい木造建築の良さを知ってもらう。



今までの活動状況

施設内で日常的に行われるゲームや体操、カラオケ、また、毎月の誕生日会など各種イベントに使用している。

開催された主なイベント

- 1 2月 クリスマス会、餅つき
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り、ハーモニカ演奏慰問
- 6月 コーラス慰問、レククッキング
- 8月 七夕祭り
- 9月 敬老会、荒川西小児童慰問
秩父農工科学高屋台囃子保存部慰問
- 1 0月 荒川園祭り

荒川西小児童による慰問



ほとんどの利用者様が木造家屋で育ってきた高齢者のため、木の温もりを感じリラックスして落ち着いているように感じる。



これからの活動・行事

1 2月下旬 クリスマス会、餅つき 2月上旬 節分 3月下旬 ひな祭り 毎月利用者様の誕生日会を開催
各種イベントの際は、積極的に食堂を利用していきたい。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

荒川源流 六角堂ログあずまや造りプロジェクト (H26)

荒川源流ログハウス技師会

事業の目的・内容

地場産材を使用し、各個人が木のぬくもりを感じながらログ技術を深め、テーブル、ベンチ工作物を造ることができるよう、技術技能の習得、情報の交換を行う。

今までの活動状況

平成 30 年 4 月から、以前秩父市大滝大血川作った東屋の修繕作業とベンチ作りを始めました。



これからの活動・行事

10年以上の継続活動で、協力者の平均年齢が上がり、重量物の移動等が困難になったため、等会としては、少人数でできることを選んで活動を進めていく。

会員の中には、自分でログハウスを造り始めている人もいます。



平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

事業名：近くの山の木で家をつくろう (H27~30)

団体名：株式会社小林建設



事業の目的・内容

埼玉県産材（秩父杉）を構造材として、柱・梁・に積極的に利用する。

1棟あたり平均 17 m³を予定。

4月以降着工、3月完成予定の件数 10件。



今までの活動状況

① 深谷市 伊藤邸 4月5日木工事着工 杉材 12.95 m³使用



② 寄居町 小林邸 4月20日木工事着工 杉材 11.99 m³使用



③ 坂戸市 三吉邸 4月25日木工事着工 杉材 19.39 m³使用



④ 上里町 志村邸 4月25日木工事着工 杉材 16.74 m³使用



⑤ 本庄市 長崎邸 5月25日木工事着工 杉材 17.70 m³使用



⑥ 寄居町 大平邸 5月25日木工事着工 杉材 10.86 m³使用



⑦ 深谷市 金井邸 9月3日木工事着工 杉材 17.66 m³使用



⑧ 上里町 石田邸 9月15日木工事着工 杉材 20.66 m³使用





これからの活動・行事

- ① 熊谷市 小林邸
- ② 北本市 飯塚邸
- ③ 深谷市 荒谷邸
- ④ 寄居町 志村邸

以上着工予定（3月完成）

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

秩父材の地元エリアでの活用推進事業 (H27~30)

島崎木材株式会社

事業の目的・内容

秩父産スギ・ヒノキ・サラワ等を当社工場にて加工し、県内および近隣消費地へ届けることで秩父地域の林業活性化と健全な森づくりに寄与する。

今までの活動状況

当社が事務局を務め地場工務店・設計・プレカット・製材・原木各社が加入する「北関東住まいづくりネットワーク」の製材メンバーに金子製材(株)様、原木供給に(有)小林製材所様に加入頂き、今年度は4月に「長期優良住宅の実務講習会」、6月には3回シリーズの「伏図作成セミナー」を実施しました。

そして8月30日に総会を開き地域材活用などのグループ共通ルールを確認し、当社工場において秩父材を用いて杉柱等の加工を行っています。



これからの活動・行事

1. 今度も期間中 35 m²の販売目標に向けて秩父材活用を進めます。
2. 来年1月29・30日に東京ビックサイトで開かれるモクコレ2019に出展し、「秩父大滝さわら」「荒川の清流」のさわら・スギ加工板商品のPRをします

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父産木材利用促進・普及啓発事業 (H27) ～杉柱にくるまれた木の家～

一級建築士事務所マツザワ設計

事業の目的・内容



国産材の規格品のB級材の有効利用を目的に、各地の工務店が容易に採用でき、コストもリーズナブルな住宅に採用できるようにしています。木の持つ長所と魅力を表に出して、木にすっぽり包まれた暮らしを提案します。B級材の105角、120角の柱材で家を包み、防耐火性、断熱性も兼ね備えた快適な外壁材（内部は極力現し仕様）とし、予算が許せば、床や野地板にも杉柱をビス止めして集成材とした構造とします。接着による集成材ではない為、糊は一切使用せず、解体すればリユースも可能な、人と環境に優しい工法です。

B級材は多くは生まれませんが、大手製材所ではある程度確保できる量が出ますし、コストを抑えた工法なので、場合によってはA級材で施工する事も考えられます。

今までの活動状況

上尾の家がこの仕様の家の3軒目になりますが、様々な方、メディア関係の方々に見学していただき、取材から掲載までご協力いただきましたので、徐々にではありますが、認知されてきています。

これからの活動・行事

B級材利用は継続してまいります。これからは増えるであろうマンションリフォームにも、国産材の木をたくさん使う「木の家マンションリノベーション・木ノベ」を発信して行きたいと考えています。

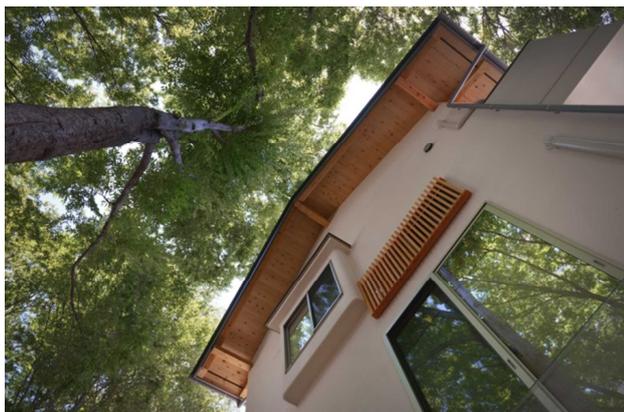
マンションでも木の家に住む喜びを感じていただけるように、床を木にするにとどまらない「木の家化」を進めたいと思います。最近完成した川崎のマンションリノベーションで提案をスタートしています。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

準防火地域の木の家「竹内邸新築工事」(H30)

一級建築士事務所マツザワ設計

事業の目的・内容



森林環境税などの動きの中で、都市部での木材利用活性化を図りたい。木の構造強度（重量比）と断熱性、燃え代による準耐火性能を活かした利用が重要になる。今回は品川区の不燃化特区での木造 2 階建準耐火構造の中で秩父材の利用を図る事にした。

利用範囲は構造材、羽柄材、内装材（板）、そして 1 時間準耐火大臣認定を取得している W・A L C に包まれたリスニングルームである。住宅の構造材については燃え代設計とし、150 角の杉・桧柱、燃え代分加算した杉の梁とし、床はほとんどが国産無垢材を利用している。リスニングルームは内部杉集成材現しの W・A L C の 1 時間準耐火仕様で、外断熱の外部をガルバリウム鋼板で覆っている。内部は人に優しく、音響も考慮した厚板を現しとし、外部はメンテと耐久性を考えガルバ仕上としている。木材の長所を活かし、欠点は極力抑える使用方法を採用した今回の建物は、今後増えるであろう都市部（準防火地域など）での木の家の可能性を確認したものである。

今までの活動状況

燃え代設計の住宅はまだ普及していないが、可能性を示す事で数は増大すると思われる。W・A L C による 1 時間準耐火仕様は鉄骨造にカーテンウォールとして厚板集成版を利用するのが標準仕様だが、今後告示の利用も含めて、木造在来工法等への利用も増える事が予想される。その為の発信を継続したい。

これからの活動・行事

今回の品川区の準耐火住宅は見学会、メディアでの紹介を含めて、多くの方の目に留まるようにしたい。W・A L C は簡易な施工方法で利用出来るため、利用者に対する発信を続けたい。公共建築を含めた小中規模の木造建築での利用を C L T の動きに合わせて進めるつもりだ。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父産材を活用したフローリング(床材)の作製 (H28)

一條ランバー株式会社

事業の目的・内容

当社およびNPO法人芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館）との協同により、各種「木育」活動を実施する際の、会場設営のために秩父材（杉・桧）を活用した床材を製作し、秩父材を実際に見て触れて、その良さを実感してもらう。

今までの活動状況

平成 30 年 2 月「木育キャラバン in 秩父」（秩父市民会館）に参加。床材展示に代わり新たに電車型遊具を初出展（秩父産材を一部に使用）し、秩父材に触れて楽しんでもらうツールとして提供。

平成 30 年 5 月「第 13 回森のおもちゃ美術館」（於新宿御苑）および平成 30 年 10 月には例年参加している「東京おもちゃ祭り」（東京おもちゃ美術館）にも前回同様に秩父材（杉と桧）ベンチを出展し、ワークショップと共に秩父材のPRツールとして提供。実際に触れて秩父産材への理解を深めてもらった。



これからの活動・行事

今年度も木育イベント（森のおもちゃ美術館、東京おもちゃ祭り）等に参加出展し、各種ワークショップ等を通じて、秩父産材への理解を一層深めるように企画運営していきたい。

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

秩父の木を使った家づくり (H29)

株式会社 山中工務店

事業の目的・内容

平成29年度に当社で施工する新築の木造2階建て（秩父市上町・山本邸新築工事）に秩父産材の杉、桧を構造材として使用する。



今までの活動状況

山本邸新築工事については現在、外構工事中で、2月中に竣工を予定。



これからの活動・行事

竣工後、当社ホームページで事例紹介をします。

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

100年先へ、秩父の元気な森を残そう！！プロジェクト (H29)

株式会社いのうえ工務店



事業の目的・内容

目的：雄大な秩父の森を100年先まで残し、いつまでも元気で活発な森を残すため。

内容：構造材に秩父産材の使用を推奨し、年間5棟の秩父産材物件を建築。



今までの活動状況

- ・分譲地（秩父市上影森）コンセプト発表会にて、秩父産材使用をアピール（2017年5月13日、14日）
- ・秩父産材を使用したモデル棟（別紙参照）を建築。（販売済み）
- ・分譲パンフレット（別紙参照）に秩父産材使用を記載



これからの活動・行事

イベント（夏・明）にて、秩父産材の推奨をし、年間5棟を目標にする。

分譲地販売パンフレット



物件概要

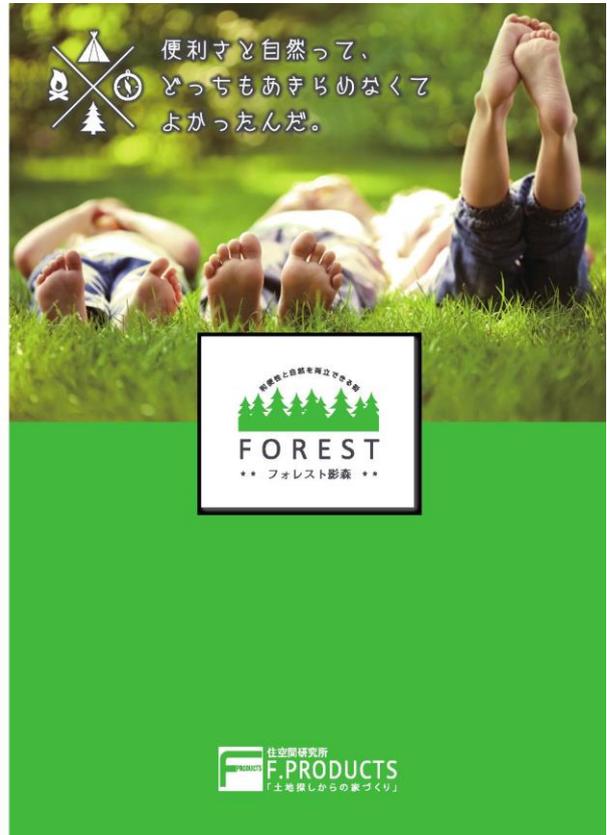
所在地	埼玉県秩父市下影森805番1 地5筆
交通	秩父鉄道本線 影森駅 徒歩13分
開発面積	2,916.02㎡
開発行為許可番号	第28-13号
地区画数	7区画
地目	宅地
都市計画	非緑引き都市計画区域
用途地域	準工業地域
建築率	60%
容積率	200%
法令上の制限	建築基準法22条指定区域
その他法令	農観法
学校区	(小学校) 影森小学校 (中学校) 影森中学校
取引態様	仲介



埼玉県秩父市東谷368-1

お電話でのご予約・お問い合わせ
0120-36-7668

ホームページもチェック!
フォレスト影森 秩父



区画No.1 4LDK+WIC

コンパクトながら、無駄を省き
広々感じる居心地のよい住まい。

敷地面積/164.15㎡ (49.65坪) ●標準床高/2100mm
建物面積/105.16㎡ (31.81坪) ●標準高さ/2200mm

- 1 家族が集まるLDKの中央には無垢の床を採用。床下の換気・半扉の伸縮が、ゆったりとした暮らしを、癒しの空間を演出。
- 2 LDと和室は、南面の大型サッシから降りそそぐやわらかな陽射しがたっぷり。
- 3 手洗いをまとめ、お風呂ク動機に配慮したなにかと忙しいママに優しいプラン。
- 4 床下にはウォーキングローゼットを設け衣類の整理をすっきり収納。

□仕様・設備

前扉等床3仕様	制圧ダンパー
シンボルトリー	鉄錠門柱
LDK無垢床	対面キッチン
食器洗浄乾燥機	I・Hコンロ
オール電化	エコキュート
ウォークインクローゼット	1・2階トイレ

※掲載の図面・外観は概観・パース図は設計段階の図面を基に描き起こしたもので、変更になる場合があります。
※図中の方位記号は若干の差異を生じる場合があります。

区画No.2 4LDK+クローク+WIC

無垢の床・漆喰の壁でつくる
自然素材の心地よい住まい。

敷地面積/199.71㎡ (60.41坪) ●標準床高/2100mm
建物面積/118.83㎡ (35.94坪) ●標準高さ/2200mm

- 1 お客様が抱き入れる大きな親子床。爽やかな朝日が差し込む明るい空間になっています。シューズクロークとハンガーラックも設置し、収納も広げます。
- 2 木の無垢を差し出す、大きなウッドサッシ。片から暮らす毎日の、家族が自然と集まるような心地よいみんなの居場所。
- 3 ダイニングリビングを豊かにする根柢色のキッチン。いつでも家族の顔を見ながら料理したいです。
- 4 市松電機が誇る和紙タタミを採用した6帖の和室。3枚の引き込み戸を開放すればリビングと一体として1つの大きな空間として使うこともできます。

□仕様・設備

前扉等床3仕様	制圧ダンパー
シンボルトリー	鉄錠門柱
クローク	ウォークインクローゼット
LDK漆喰壁	LDK無垢床
対面キッチン	食器洗浄乾燥機
I・Hコンロ	オール電化
ウォークインクローゼット	1・2階トイレ
和紙畳(2寸)	ドア電子タイプ
	室内フルバインドア

※掲載の図面・外観は概観・パース図は設計段階の図面を基に描き起こしたもので、変更になる場合があります。
※図中の方位記号は若干の差異を生じる場合があります。

モデル棟



平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

森を育てる家づくり(秩父産杉・桧をつかった住宅建築) (H29)**伊佐ホームズ株式会社****事業の目的・内容**

平成 29 年度に当社で施工する新築の木造 2 階建てに秩父産材の杉・桧を構造材として使用する。
また、当社 HP にて“森を育てる家づくりへ”として掲載。

参考 HP : <http://www.isahomes.co.jp/news/>

**今までの活動状況**

平成 30 年 11 月 30 日までに 5 棟の新築木造 2 階建ての住宅の構造材(原木約 101.6 m³分)を、秩父産材の杉・桧で施工済み。

また、当社 HP にて“森を育てる家づくり”や“対談 林業と家づくり”にて秩父材での家づくりの取り組みを紹介。現在も継続中。

**これからの活動・行事**

今後、平成 31 年 3 月 31 日までに 2 から 3 棟の新築木造 2 階建ての住宅の構造材に使用予定。
また、当社 HP にも更新時に随時林業との取り組みや秩父材の使用状況などを紹介予定。

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

みどりの村「村カフェ」(H29)

Le plein(ル・プラン)

事業の目的・内容

秩父産木材を使用し、みどりの村売店をカフェレストランに改装する。多くの方が利用するレストランを木の温もりある空間にすることで、秩父材の魅力を伝え、普及啓発を図るとともに、施設内でウッドワークショップの開催や木工体験・木工品の販売などを展開することで秩父地域の活性化につなげる。

今までの活動状況

村カフェ店内ワークショップコーナーにて、夏休みこども木工教室、お母さんのための木工教室を企画し、実施した。

- ・ H29/8/20、8/21、9/3 木工教室
- ・ H29/9/1～ 店内テーブル・イス、ディスプレイ棚など作成、販売開始

店内集客UPとともに、秩父産材料の価格、作成物の値段の問い合わせが日ごとに増加。

ホームページ作成によりメール受付やインターネット販売促進につなげていくことになった。



これからの活動・行事

今後は、秩父の地域村カフェ顧客、RVパーク関東近郊顧客の増加、そしてインターネット販売により需要の拡大を目指す。その事業をまた熊谷にて支店として空き店舗を利用してつなげていきたい。

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

秩父産材を活用した新築住宅見学会及び広報活動（H29）

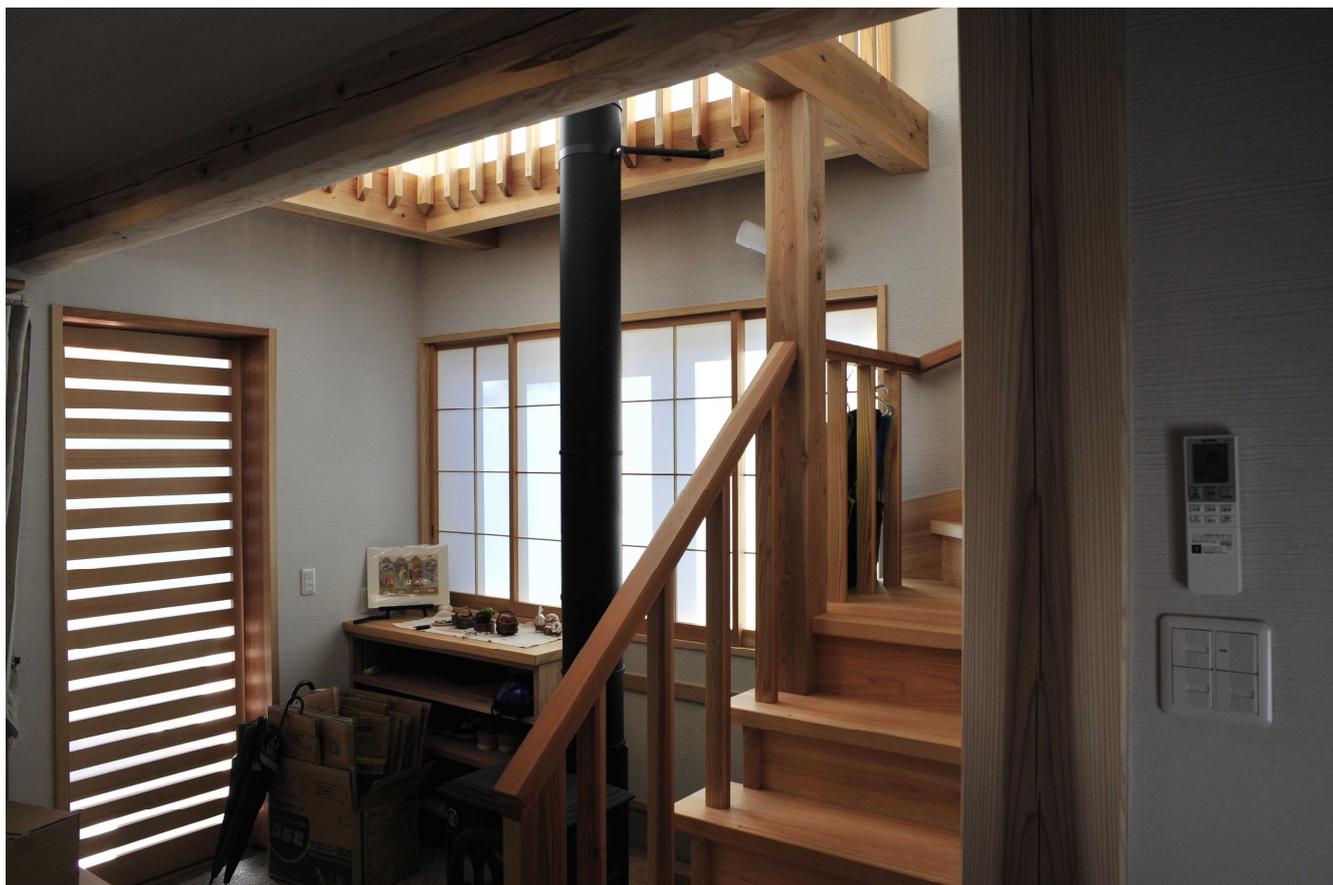
株式会社千葉工務店

事業の目的・内容

秩父産木材を利用して構造材や羽柄材を使用した住宅を建築する。各種PRを行い、住宅見学会などのイベントを開催する。

今までの活動状況

平成29年10月28日・29日、川口市内の新築住宅（秩父産木材使用量：13.91㎡）完成現場見学会にて、住宅に使用した秩父産材の説明、PRを行った。その際、ダイレクトメールなどで周知を行った。



これからの活動・行事

平成30年3月頃に川口市の現場見学会（2回目）を開催予定。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

オール秩父産木材の住宅(松倉邸新築工事) (H29) ～秩父産木材の活用と広報活動～

大島博明建築研究所

事業の目的・内容

秩父産木材を使用した建築及び家具を実際に設計し、活用方法の研究を行う。同時に、実際に創られた建築及び家具事例の見学会等を通して、秩父産木材の広報活動を行うことを目的とする。

今までの活動状況

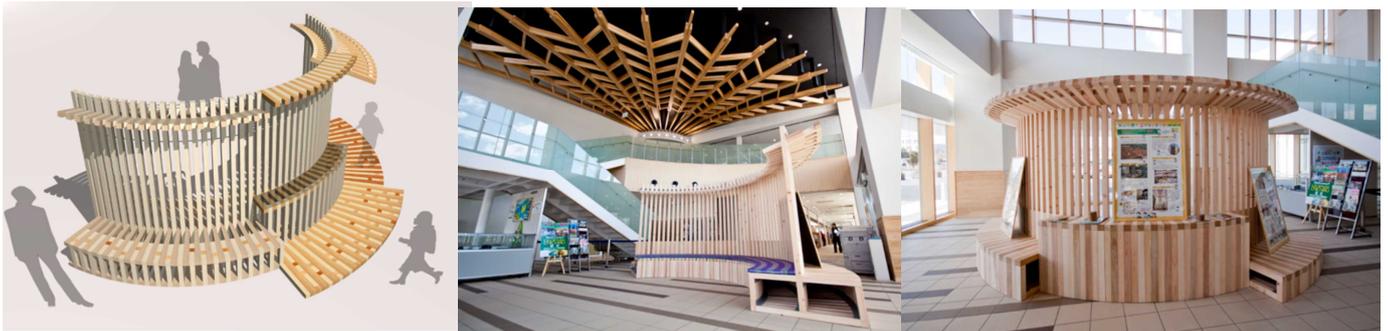
□ 平成 28 年度 オール秩父産木材の家(松倉邸)設計

100 分 1 模型、50 分の 1 模型及びCG検討を行い、構造体を隠蔽せず表しとするデザインとした。
秩父産木材を構造体、仕上げ材及び外装材として使用したオール秩父産木材の家を設計した。



□ 5 種類の秩父産木材を使用した秩父産木材展示家具及び休憩コーナー(笠ほこ)の設計及び制作

秩父産木材 5 種(クリ、ヒノキ、杉、カエデ及びケヤキ)で構成し、家具そのものが秩父産木材のアピールとなるデザインとした。



□ 平成 29 年度 オール秩父産木材の家(松倉邸)の施工

構造体、内装仕上げ材、外装材及び家具に秩父産木材を使用した。ヒノキ、杉及びサワラ。



□ 平成 29 年度 松倉邸見学会開催 10 月 20 日



□ 平成 30 年度 秩父の木展示会出展 10 月 25 日



 これからの活動・行事

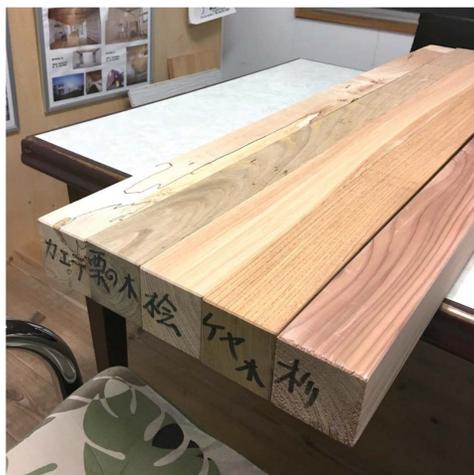
現在、設計中の認定こども園、住宅、公園内施設及び家具等に極力秩父産木材を活用し、秩父産木材の活用及び広報活動に努めたい。

また、設計した建築作品及び家具を設計コンクール等に出品し、秩父産木材のアピールにも努めたい。

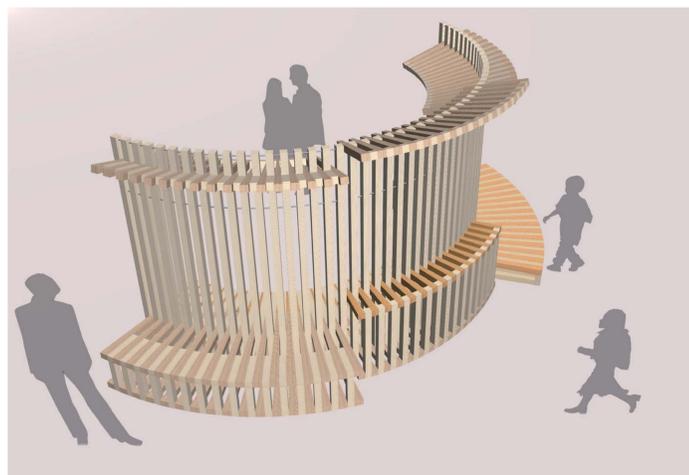


木のお休み処 笠ほこ

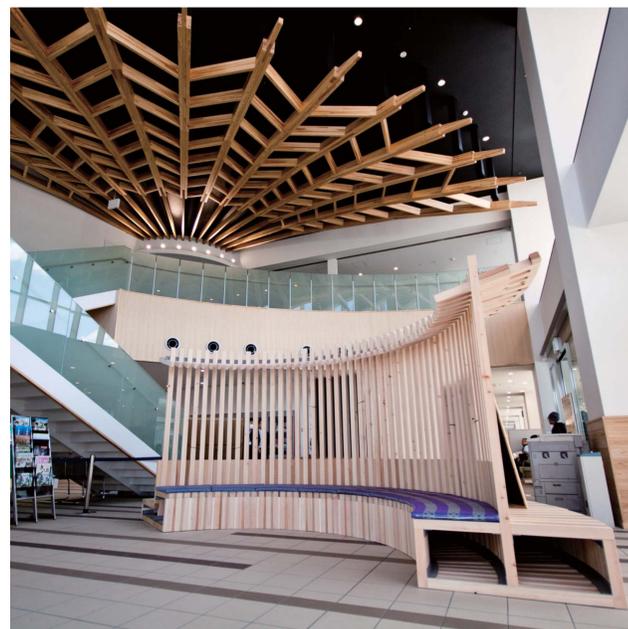
～秩父産木材による展示モニュメント～



使用されている木の種類
ヒノキ スギ ケヤキ
クリ カエデ



基本レイアウト

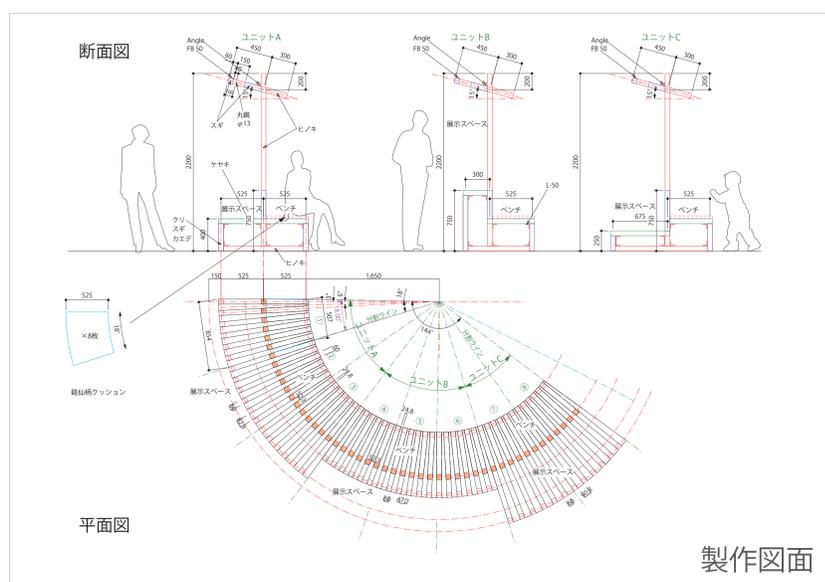
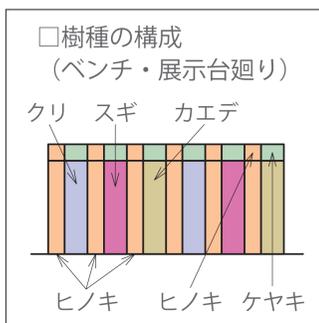


笠ほこをイメージした上部天蓋と調和する形状
(上部天蓋も大島博明建築研究所によるデザイン)

- ・ パネル展示や置き展示のできる変化に富んだ展示コーナー
- ・ 市民の休憩コーナー
- ・ ペレットストーブを囲むコミュニケーションゾーン
- ・ 人力で移動でき、多様な展示が可能な8分割ユニット
- ・ エントランスホールを閉鎖的にしない縦格子バックパネル



秩父銘仙をはぎ合せてつくったクッション



利用・展開イメージ



最小ユニット



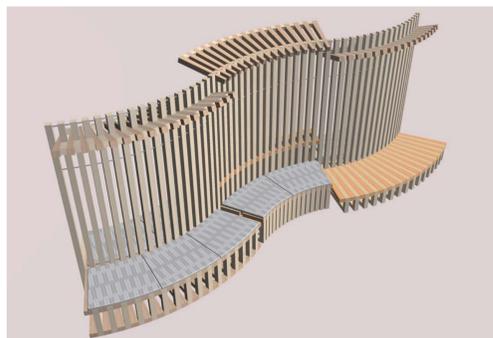
展示・展開イメージ



秩父夜祭の前にはお祭りに関する
展示とすることも



8台のユニットはそれぞれ自立可能
並び替えることで多様な配置が可能
3種類の台により変化に富んだ展示



向きを変えて並べると波型に



分割して並べる

大庇の家

一環境と人に優しい建築—
秩父産木材の家

M 邸新築工事

設計監理
株式会社大島博明建築研究所

施工
株式会社いのうえ工務店



大庇下木製デッキ



居間



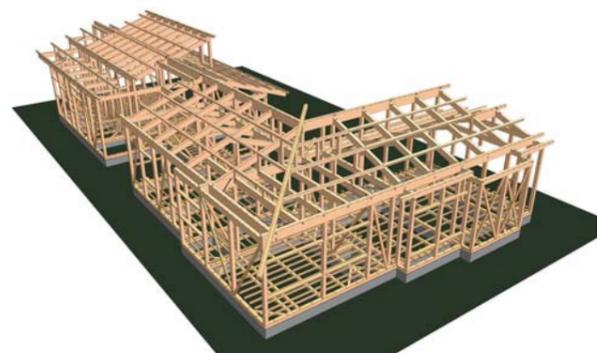
南面外観



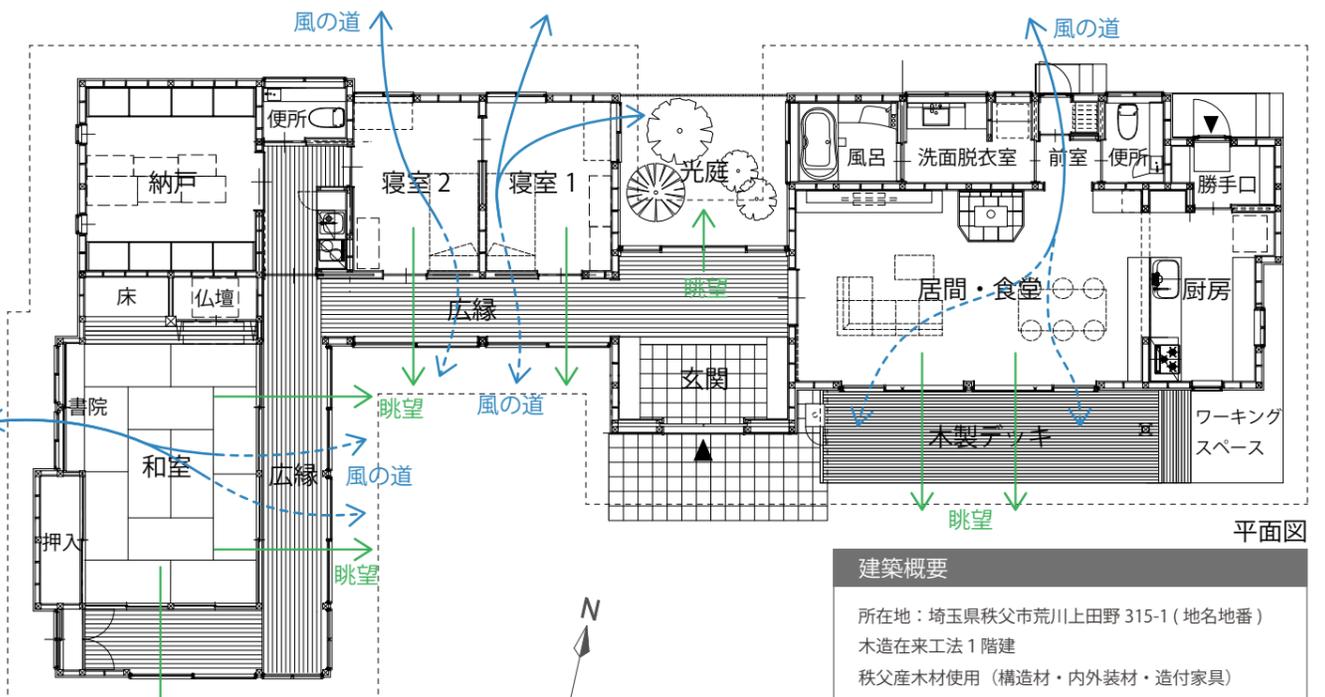
和室



軸組パース 南東より

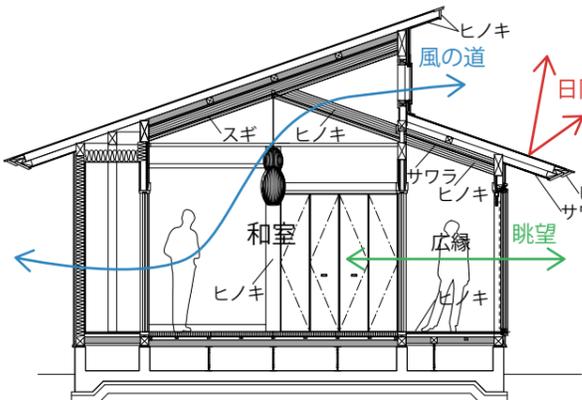


軸組パース 北西より

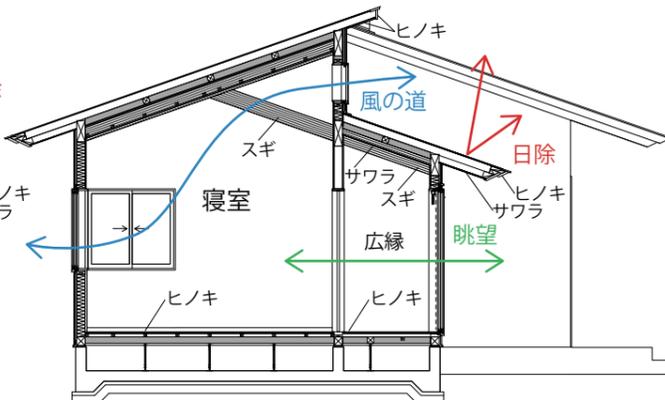


平面図

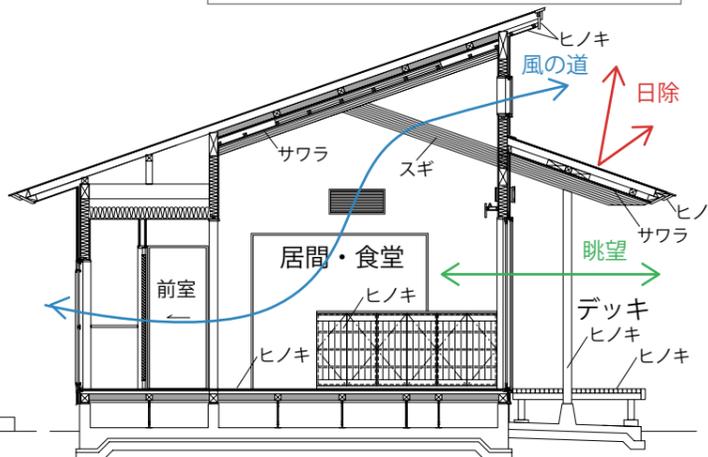
建築概要
所在地: 埼玉県秩父市荒川上田野 315-1 (地名地番)
木造在来工法 1階建
秩父産木材使用 (構造材・内外装材・造付家具)
床面積: 183.72 m ² (55.5坪)
外装材: ヒノキドイツ下見板張、防水形外装薄塗材E ガルバリウム鋼板
内装材: しっくい塗壁、じゅらく塗壁 ヒノキフローリング、サワラ縁甲板張天井 小川和紙 (障子・襖)



和室 断面図



寝室 断面図



居間・食堂 断面図

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

担い手の育成事業(H27)

秩父広域森林組合



事業の目的・内容

林業に必要な資格や技術を習得するため、受験準備講習や技術研修を受講して、職員として技術・知識の向上に努め業務の向上を図る。



今までの活動状況

- ・ 林業架線作業主任者受験準備講習 (H28. 8 月)
- ・ 森林作業道 (作設指導) 研修 (H28. 9 月)
- ・ 森林施業プランナー認定試験 (H28. 9 月)
- ・ 林業架線作業主任者試験 (H28. 10 月)

H 2 9 年度

- ・ 森林施業プランナーとして、小鹿野町両神薄及び横瀬町横瀬地区において、搬出間伐及び作業道開設事業を担当
- ・ 現場職員として、搬出間伐における作業同作設を担当し、他の技能職員に技術指導を実施した。



これからの活動・行事

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

新たな林業展開のための人材育成事業 (H27)

秩父樹液生産協同組合

事業の目的・内容

山林の荒廃、過疎化が進む大滝地域において、林業に従事する新たな雇用を生むために事業を実施した。雇用した職員は樹液採取作業や、組合商品の販売、組合運営に関わる事務に従事している。

今までの活動状況

1～3 月には主に樹液採取作業を行う。市内や両神、横瀬の山林においてカエデの樹液を採取し、主に秩父観光土産品協同組合へ販売している。

12～1 月には主に木材販売事業を行う。市内の山林で間伐した材にQR コードを貼付しトレーサビリティを確保。住宅メーカーへ直接販売している。

10 月下旬にはカエデの植樹を行っている。スギなどの針葉樹を間伐した山にカエデ等の広葉樹を植えることで、より豊かな山林を形成する。

また、通年を通して、秩父の山で伐採したキハダを活用したオリジナル商品の開発、販売を行っている。これらの活動を通して山の循環を生み、荒廃した山林と過疎化した地域の再生を行う。



これからの活動・行事

木材販売事業の拡大。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

森林・林業分野における人材育成・雇用への支援 (H26)

田口木工株式会社

事業の目的・内容

高齢者が退いていく中、若い人材を加えて木製建具、木製家具の製造取付けを伝承してゆきたい。出来るだけ国産材或いは地場産の材料を利用するの製作を志しています。

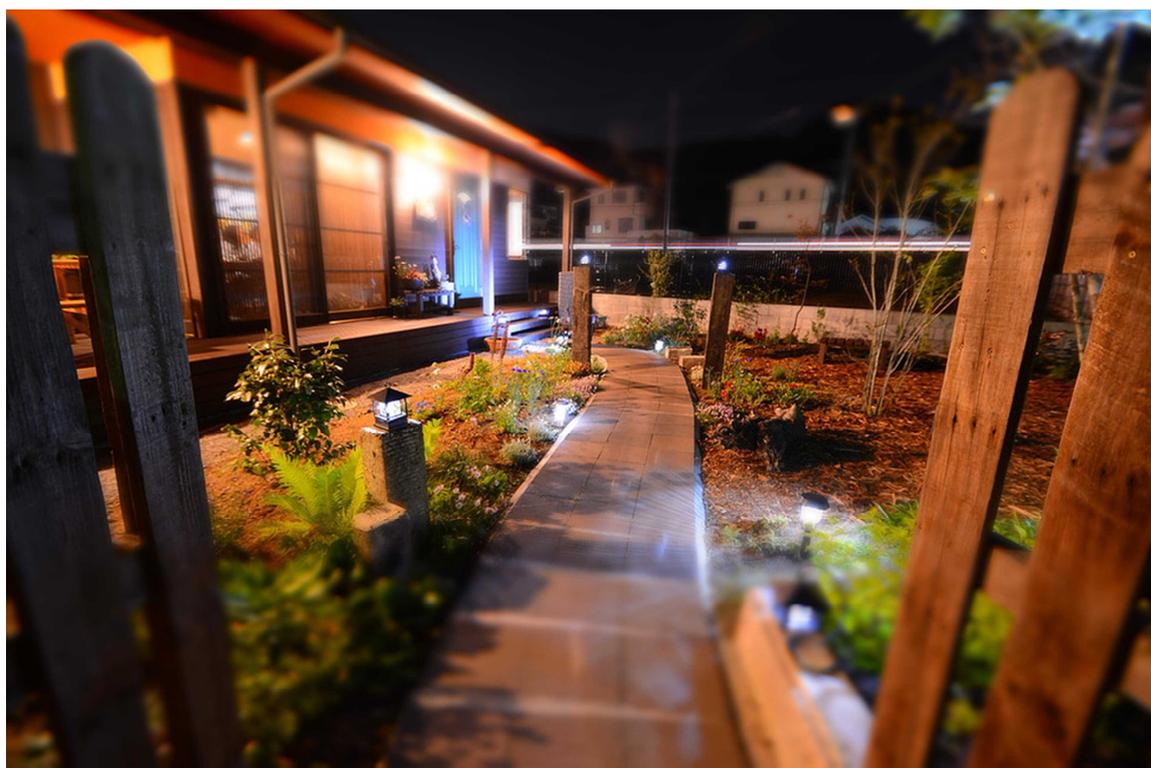
今までの活動状況

簡単な建具の製作、規模の小さな取付工事は一人でも任せられるようになりました。まだまだ習得することはたくさんありますが、本人も自覚をもって日々作業しています。

携わった工事 旧大滝中学校改修工事
皆野町立皆野小学校教室改修工事
ときがわ町生き生き活動センター改修工事
長瀬地区公園トイレ建築工事 等

これからの活動・行事

伝統的な工法も再確認しながら、従来と違う観点にも着目して新しい分野へ移行をめざしています。



平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

山仕事の人材確保事業 (H30)

株式会社ウッディーコイケ



事業の目的・内容

日刊木材新聞でも掲載されましたが、弊社は山林部の事業内容を拡充し、従来の素材生産に加え新たな森づくりを積極的に始めております。現在、秩父地域の林業の活性化のために施業集約化、森林経営計画の策定、素材生産から製材及びプレカットに加え、森林整備や次世代の森林を育てる施業にも取り組んでいます。林業～製材、建築～林業へと循環型の林業を目指し取り組んでおります。その中で、林業労働力の確保は最重要課題であり、人材育成は急務であります。秩父の林業の一役を担うため人材育成に取り組んでおります。



今までの活動状況

- ① 平成 30 年 4 月 0JT 地拵・植付
- ② 平成 30 年 5 月 0JT 保育間伐調査
- ③ 平成 30 年 5 月 24、25 日チェーンソー作業従事者特別教育受講 林業・木材
- ④ 平成 30 年 6 月 0JT 保育間伐選木
- ⑤ 平成 30 年 7 月 0JT 下刈
- ⑥ 平成 30 年 8 月 0JT 下刈
- ⑦ 平成 30 年 9 月 0JT 下刈
- ⑧ 平成 30 年 10 月 0JT コンパス測量、毎木調査
- ⑨ 平成 30 年 11 月 0JT 安全衛生講習、リスクアセスメント、KY 活動など
- ⑩ 平成 30 年 11 月 0JT 獣害防護柵設置



これからの活動・行事

- ① 平成 30 年 12 月 0JT 保育間伐、伐倒枝払集積
- ② 平成 31 年 1 月 0JT 間伐、伐倒、集材架線に関する実務など
- ③ 平成 31 年 1 月 31 日 平成 30 年度森林整備技術研修 埼玉県林業労働力確保支援センター
- ④ 平成 30 年 2 月 0JT 保育間伐、集材架線に関する実務など
- ⑤ 平成 30 年 3 月 0JT 林業機械に関する実務など

「森のことは森に聞け」「山のことは現場に学べ」通年で林業実務に携わって行きます。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

掘り起こそう！次世代の森の活人(H26)
もっと増やそう！次世代の森の活人(H27)

ふおれすとキッズよこぜ

 事業の目的・内容

<森林整備：山村都市交流の推進>

交付頂いた里山を維持するための道具を利用して、学生や外国人などにも使用方法の講習を行い、森の健康維持を心掛けた活動を次世代の森の活人に伝えることを主に活動しました。大きくなり過ぎた立木の伐採方法や病気になった木の手入れを通年活動しました。

 今までの活動状況



4～7月：大木の伐採
活動地内の20本弱の桃・栗・馬酔木・紅葉等を
健やかに生育できる様にしました



通年：道具使用方法の講習・体験等
学生や外国人などにのこぎりやその他道具の安全な使用法
を体験させました



9～11月下草取りなど
枯れ枝や草の蔓を除去して散策しやすいように
手入れしました

 これからの活動・行事

平成 30 年 12 月 本気の餅つき（地球野外塾 共催行事）

平成 31 年 ツリーハウス移築作業

⇒以前交付いただいたツリーハウスを修繕及び移築する予定です

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

未来につなぐカエデの森づくり(H27)

NPO 法人 秩父百年の森

事業の目的・内容

秩父の森も、国立公園内など原生林の姿を残しつつも、半分近くはスギやヒノキを中心とする人工林単一な植生に作り替えられています。用材に適した樹齢に育ってきたそれらを間伐した後に、広葉樹の苗を植え、これまで育ててきたスギやヒノキの人工林も大切にしながら、少しずつ生物多様性をそなえた本来の豊かな混交林を取り戻す活動を、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながって一体となった取り組みです。

今までの活動状況

● 2015 年 11 月 21 日

当日は、樹液組合員、NPO 会員、伊佐ホームズ、荒川中学校、行政関係者、ホームページから問い合わせをいただいた方々、総勢 50 名が大滝槌打地区に集まりました。

山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながっている点も今回の取り組みの重要なポイントでした。唐クワをもって対象場所へ移動し、すでに植栽場所に配置されているイタヤカエデとイロハモミジを 1 時間程度かけて植栽しました。今回の植樹で、イタヤカエデ 163 本、イロハモミジ 33 本の植樹ができました。(苗は大滝地区で種を採取し育てた、秩父の遺伝子を引き継ぐ実生苗) 今回の未来につながる森づくりの未来の主体となる子どもたちが、試験直前の厳しい時期にも関わらず参加してくれて、秩父の山のことを考えてもらえるきっかけになってもらえることは、今回の植林の大きな目的でもありました。



2015 年 10 月～11 月

苗の掘起こしと根巻き



● 2016年11月19日

前日からの雨の予報でしたので中学生やお子様の参加は見合わせメンバーと一般参加者との18名で作業。朝のうちは雨でしたが昼頃にはあがり65本のイタヤカエデを植えることができました。前日の準備作業時に植樹した36本と、補植45本と合わせて、今回146本の植樹を行いました。



2016年12月11日
補植



2016年10月 苗の掘り起しと根巻き



● 2017年10月30日

雨の中、三峰神社裏参道脇の間伐地でお子さんを含め61名で行いました。東京と埼玉のハウスメーカーへ主催を移管しての初の植樹です、この山から伐り出した材で家を建てるハウスメーカー、施主が間伐跡地へカエデを植えての森づくりの試みです。



● 2018年11月11日

昨年の大雨と打って変わって晴天のなか、35名で36本のイタヤカエデを植樹しました。
 今回の苗は、鹿による食害対策をかねて、5年ほど苗畑で育てた大きな苗を、掘り起しや根巻きに1つか月ほどかけて準備しました。



2018年10月 苗の掘り起し・根巻きと移送



これからの活動・行事

- ・破れた獣害防止ネットの補修
- ・秋の植樹
- ・苗の掘起こし、重機の活用による効率化

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

大滝の彩りのある森づくり推進事業 (H27) カエデの植栽イベント事業 (H29,30)

大滝山林振興協議会

事業の目的・内容

秩父の森も、国立公園内など原生林の姿を残しつつも、半分近くはスギやヒノキを中心とする人工林単一な植生に作り替えられています。用材に適した樹齢に育ってきたそれらを間伐した後に、広葉樹の苗を植え、これまで育ててきたスギやヒノキの人工林も大切にしながら、少しずつ生物多様性をそなえた本来の豊かな混交林を取り戻す活動を、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながって一体となった取り組みです。

今までの活動状況

11月11日、気持ちの良い秋晴れの日、住宅メーカーの伊佐ホームズのスタッフ及びお客様とお子様、大滝山林振興協議会スタッフ、NPO 秩父百年の森スタッフでイタヤカエデの植樹をおこないました。山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながっている重要な取り組みです。都会の木材利用者が秩父の山のことを考えてもらえるきっかけになってもらえることは、カエデの植林の大きな目的でもあります。お客様の中には2回目の参加の方もいらっしゃり、カエデの森づくりへの理解が広がっている事を実感しました。



これからの活動・行事

下草刈り等の保育

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

カエデの森づくり (H26)

カエデの森づくり推進協議会



事業の目的・内容

秩父市の木であるカエデの植樹を都市住民（さいたま市職員と家族）と行い、植樹を通じた山村と都市の交流を行い、森林への気づきの促進、森林の役割等を学習する。



今までの活動状況

平成 30 年 6 月 15 日 カエデの植栽（さいたま市住民との協働連携による）

植樹樹種：イタヤカエデ 50 本 樹高 2m 超

イロハモミジ 50 本 樹高 2m 超

国土緑化推進機構の助成金を受ける



これからの活動・行事

次年度以降、植樹地の下草刈り等の実施。

平成27年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

事業名：稲穂山(みの山山麓)における里山復興事業

団体名：秩父山里文化研究会



事業の目的・内容

放置されている里山の保全、再利用を主目的とする。

山里の伝承技能の保存・習得、里山の自然環境を学習・利用し啓蒙活動と同時に継続的営利事業化を目指す。

- ・ 山林作業の基礎知識の習得、啓蒙
- ・ 「樹木」の知識増強
- ・ 秩父山里文化研究会の活動の告知、広報
- ・ 間伐材の再利用、事業化の推進



今までの活動状況



4月4日(土)～5月6日(水) キノコ駒打ち、6月28日(日)原木伏せ込み



駒打ち体験会：4月5日(日)参加者3名 使用種駒2000個

4月29日(水)園内ガイドツアー



参加者 9 名
毎シーズン恒例のムクゲ公園ガイドツアー

5月5日(火)、5月18日(月) 薪割り体験会 (画像無し)

5日参加者 4 名
18日参加者 8 名
中学生を対象に斧とクサビによる薪割り体験

5月6日(水)、5月30日(土)木の枝の椅子・ワークショップ



6日1名、30日2名参加

間伐材とその枝を使用した椅子、ベンチ等の制作

9月23日(水) 園内ガイドツアー



参加者 1 名

ムクゲ自然公園
園内ガイドツアー

ムクゲ自然公園内の山林ネイチャーガイド
期日：2015年9月23日(水)
時間：ムクゲ自然公園内『森のホール』前集合
13:00 集合出発(15:30 小冊発行(道具全て用意下さい))
参加費：¥500(保険含む) 当日受付OK
※今回のテーマは 秋の「花」と秋の「山」と「木の葉」
問合せ先：秩父郡皆野町皆野 4048-1 ムクゲ自然公園
☎0494(02)1688
または 秩父山麓文化研究会 代表 西井 ☎80-1230-2729
秩父山麓文化研究会



これからの活動・行事

- ・ 10月18日(日) 総会
- ・ 10月～11月：平成26年度伐採分の余剰材処理
- ・ 11月～薪の販売開始予定
- ・ 11月末より3月にかけて土日を中心に雑木林の間伐、薪作り
- ・ 11月下旬、1月中旬に公園内ガイドツアーを実施予定

□

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

長瀬の権田山 桜・楓・松林の森林整備 (H26)

特定非営利活動法人 長瀬町桜と松等を守る会

事業の目的・内容

長瀬町は観光立町で多くの観光客が来ており、その目玉に桜がありますが、近年、樹木が老朽化して枯死寸前のものが増えてしまったことから、その桜等を守るべく立ち上がった団体が当会です。桜・松・楓（カエデ）等の樹木の手入れ、森林保全等を主な目的としています。

具体的な活動内容は、各種樹木の下草刈り、桜等主な樹木の枯死枝の除去、腐食箇所の防水処理、病虫害の防除を行っています。

今までの活動状況

権田山内及び養浩亭下の桜、楓林内の下草刈り、間伐、つる切りを行っている他、桜通り（南・北通り他）の桜の手入れも行っています。作業は毎月第2・4水曜日に実施しています。

権田山については、草刈りの効果で樹木が成長し、下草も薄くなり管理の効率も良くなりました。また桜等も経年して開花が始まり、ハイキング客等からも喜ばれています。

<年間活動状況>

平成 27 年度：31 回、625 人（作業等：うち 24 回、420 人）

平成 28 年度：32 回、576 人（作業等：うち 32 回、576 人）

平成 29 年度：9 回、142 人（作業等：うち 8 回、127 人）※H29.9 月末現在

※作業以外の回数は、総会、研修旅行、役員会、反省会などを含む。

※学校応援団の行事も含む。（年 3 回）



これからの活動・行事

平成 29 年 10 月から 3 月にかけて活動を 9 回予定しており、権田山草刈り、養浩亭下草刈り、北桜通りの桜苗植樹（補植）、桜の手入れ等を計画しています。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

野土山あじさいの森づくり推進事業 (H27)

長瀬町花の里づくり実行委員会

事業の目的・内容

実行委員会で進めている野土山でのあじさいの森づくりを推進するため、山村と都市住民との交流を目的として毎年10月に開催される長瀬町商工会青年部主催イベント「ふれあいフェスタ長瀬」にてあじさい植樹イベントを行い、園地の整備及び植樹後の手入れを積極的に進める。

なお、あじさいの苗は「彩の国みどりの基金」の苗木提供事業(100本予定)も活用する予定。

今までの活動状況

平成27年10月 アジサイ植栽作業(ふれあいフェスタ)



平成28年6・9月 園地除草作業(作業実施後) 参加会員10名



平成29年6月 園地内遊歩道除草作業・参加会員8名、9月 園地除草作業・参加会員12名



平成30年6月 園地除草作業 参加会員8名

8月 園地除草作業 参加会員5名

10月 園地除草作業 参加会員10名（下記写真は10月除草作業後のもの）



これからの活動・行事

会員の高齢化が懸念される状況ではあるが、植栽したあじさいの剪定や園地の除草作業を継続すると同時に、あじさい園地の拡大に合わせた遊歩道等の整備を実施していく予定。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

親子森林環境教育 (H27)

長瀬やなせ・こびすの会



事業の目的・内容

長瀬・矢那瀬地域の森林等で、子どもと大人がいっしょに森の仕事についてリクレーションを通じて体験する環境教育学習活動を取りこんでいます。

森の達人の指導のもと安全な埼玉県での森林体験をおこなうことで、災害などにあった他県家族と地域の家族とが子どもといっしょに交流し、自然の大切さを体験的に学ぶ活動です。

具体的には、ツリークライミングやカヤック体験をとりいれ、森林と里山の仕事や暮らしについてお話を聞いたり感想を出し合ったりして、思い起こし、思い出残しをプロジェクターニングツリーのカリキュラムを取り入れて行うものです。



今までの活動状況

2015 年から、地元の法人やボランティア団体（「カラッポの会」等）、行政窓口と連携し、参加者を募集広報し実施してきました。昨年は、3 回体験プログラム応募が成立しました。



2017 年次企画については、残念ながらさまざまな事情で他県からの訪問者が一時的に減少しました。応募者が極端に少なく、インストラクターの都合等もあわず、残念ながらプログラムはすべて中止しました。期間中、他県から見えた家族については、保養の家「カラッポのおうち」（長瀬町矢那瀬）で埼玉の家族との交流、秩父地域で活動する他団体の体験活動を紹介するなど、実情に合わせて対応する活動にとどまりました。



2018年は一年間祝日、休日に保養の家「カラッポのおうち」利用訪問がありました。残念ながら、会場としていた矢那瀬の森林が事情により使えなくなったこと、インストラクターとの日程が合わなかったことから、体験会は新年訪問家族（3家族10人）のみでした（写真は長瀬元気プラザ、と周辺での体験会スナップ）。そのほかの保養の家利用の皆さんについては、それぞれ、秩父地域の自然と人の出会い・触れ合い計画をご自身でたて、体験していただきました。当会は求めに応じて相談、案内、援助するにとどまりました。



これからの活動・行事

次年次計画では、安定した活動場所を探し、インストラクターと応募者との日程調整がしやすい活動フィールドづくりを進めています。保養の家近くの使われていない畑地で、麦栽培などをとりいれた身近でできる里山回復体験活動をプログラムを準備しながら募集活動を行います。

具体的行事が決まり次第、広報したいと思います。



【活動フィールドとしてひまわり、小麦などを栽培中の畑地】

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

ありがとう！300年の松（H30）

長瀬町桜と松等を守る会



事業の目的・内容

長瀬町の文化財である総持寺の松が松くい害虫の被害にあい危険なため伐採することになり、これまでの感謝の意を込めて伐採イベントを12月8日（土）に一般市民にも参加を呼び掛けて実施する。



今までの活動状況

平成30年6月5日、7月25日、8月9日、9月13日、10月31日、11月22日に会議を実施。12月8日（土）のイベント実施に向け、多方面より協力いただき企画を練り上げてきました。イベント開催チラシは別添のとおり。



これからの活動・行事

12月8日（土）に伐採イベントを実施予定。
その後、伐採した総持寺の松を使った作品展を行う予定。

ありがとう！300年の松

300年間、地域を見守り、長瀬町の文化財にも指定されていた総持寺の松が松くい虫被害にあい、危険なため伐採することとなりました。

ついては、これまでの感謝の意を込めて、下記のとおり伐採イベントを開催しますので、皆さまご参加ください。

1 日 時 平成30年12月8日(土)9時～15時

(雨天の場合は12月15日(土)に延期)

2 場 所 総持寺 長瀬町本野上924 電話0494-66-2665

3 スケジュール(予定)

9:00 あいさつ・読経

9:30 伐採

11:00 一般参列者 解散

13:00 伐採木の処理

15:00 終了



子供達を対象にした丸太切り体験もあるよ！



平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

秩父の杣人が未来につなげる木挽きの技と心 (H29)

杣・木挽き・規矩観触会

事業の目的・内容

昔から使われてきた大鋸などの製材道具を使って、小中学校の授業、各地でのイベントで木挽きの実演を行う。地元の木材の活用方法や、材木の木取り、道具の使い方などを実際に体験してもらうことで知ってもらう。

木挽き体験を通じて、子どもも大人も森や木に対する興味・関心をもってもらい、道具を正しく使うことを通じて、生きる力を学ぶ機会を提供し、子どもたちには将来、森林や木材に係る仕事に就きたいという夢を抱いてくれることを目標とする。



今までの活動状況

杣・木挽き・規矩観触会の会員を中心として各催し・体験学習の協力を行った。

- ・小学校体験学習（於：荒川歴史民俗資料館）

平成29年

- 6月23日 秩父市立南小学校3年生（20名）
- 10月3日 小鹿野町立両神小学校3年生（17名）
- 10月12日 秩父市立大田小学校3年生（18名）
- 10月17日 秩父市立尾田蒔小学校3年生（30名）

平成30年

- 2月6日 秩父市立影森小学校3年生
- 2月8日 秩父市立秩父第一小学校3年生
- 2月15日 秩父市立久那小学校3年生
- 2月20日 秩父市立荒川東小学校3年生

- ・川越の職人の技体験市での木挽き体験

平成29年11月25日

（於：川越市仲町4 鍛冶町広場内）

- ・その他、各地での催し、イベントにて体験会を実施



木挽きは人を惹き付ける何かがあると考えている。一人ひとり木との向き合い方が異なり、それを感じながら実演をすることは本当に興味深い。木挽きのファンになり、わざわざ秩父まで来る人もいる。子どもは呑み込みが早く、大人よりも上手に木を挽くことに驚く。多くの人にとって忘れられない経験となればこんなに嬉しいことはない。



これからの活動・行事

今後も、秩父地域内外問わず多くの人に木挽きを体験していただき、木の魅力と伝統技術を伝えていきたい。

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父の木をみんなで一緒に PR 事業 (H29)

秩父木工フェア & 木育ひろば実行委員会

事業の目的・内容

当会では、秩父地域における木製品等販売加工業の連携強化や若い担い手の育成等の支援をとおり、秩父地域の森林・林業の活性化及び木材関連業の振興につながる事業を実施している。

本事業では、“秩父の木”を PR することを目的に揃いの法被を製作し、県内外の各種イベント等への出店の際に着用している。また、他団体への貸出も行っている。

今までの活動状況

H29 年度に“秩父の木”をより一層 PR するため、法被を 21 着製作。その後、イベント出展の際の着用、貸出を行っている。

【H30 活動状況】

- ・ 5/12 (土) -13 (日) 「第 32 回木が香る秩父フェスティバル」(道の駅ちちぶ) [写真①](#)
- ・ 5/18 (金) -20 (日) 「森のおもちゃ美術館」(新宿御苑) 【他団体へ無償貸出】 [写真②](#)
- ・ 10/13 (土) -14 (日) 「森のめぐみの子ども博」(東京おもちゃ美術館) 【他団体へ無償貸出】 [写真③](#)
- ・ 10/25 (木) -26 (金) 「秩父の山の木フェア」(日本橋プラザビルイベントスペース) 【他団体へ無償貸出】 [写真④](#)
- ・ 11/10 (土) -11 (日) 「第 33 回木が香る秩父フェスティバル」(道の駅ちちぶ) [写真⑤](#)



これからの活動・行事

今後もイベント等の出展の際に着用、貸出を行い、秩父の木を更に PR していきたい。

【H30/12 月以降の予定】

- ・ 12/2 (日) -3 (月) 「絹市」(秩父夜祭同時開催)
- ・ 12/8 (土) 「ありがとう! 300 年の松」【他団体へ無償貸出】

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

秩父産の木材を使用した木製品の生産加工販売(H29) 秩父産の木材を活かした木製品のPRと販売(H30)

坂本銘木店

事業の目的・内容

秩父の無垢材の魅力をさらにお客様に知って頂くために、新しい製品の開発や販売に取り組んでいきたい。そのためには、お客様が手にとって頂けるような小物製品の種類を増やして行きたいと考えている。また、イベント等に出店をして、秩父の木製品のPRや販路の拡大を図りたいと思っています。

今までの活動状況

H29年 秩父産の木材を使用した木製品の生産加工販売

- ◆ 8月 「全国職人展」(8/15~8/22) 小田急百貨店 新宿店
 - ◆ 9月 「上野村フェスティバル」(9/16~9/17) 群馬県上野村
- イベントに参加して、秩父の木のPRと木製品の良さをたくさんのお客様に紹介出来ました。また、後日オリジナル商品をお客様のご希望で製作することが出来ました。

H30年 秩父産の木材を活かした木製品のPRと販売

秩父の木を活かした、小物商品を開発してお客様の手に触れていただけるような販売コーナーを設けPRをして木製品のあたたかいぬくもりを感じていただけました。

- ◆ 4月 「日本の職人展」(4/10~4/16) 西武所沢店-催事場
- ◆ 5月 「十石市&木工フェスティバル」(5/4~5/5) 群馬県上野村
「飯能ものづくりフェア」(5/18~5/20) 飯能市飯能中央公園
- ◆ 10月 「秩父はんじょう博」(10/20~10/21) 秩父ミュージアムパーク
「日本の職人展」(10/24~10/29) 西武所沢店-催事場



西武所沢 4/10-16



飯能ものづくり 5/18-20

※秩父産の木を知って頂くために、説明をつけたタグを商品につける事で、秩父の事や木の商品にお客様が興味を持ち、会話が出来て良いPRになりました。



これからの活動・行事

今後の活動内容

- ◆ 12月 「絹市」(12/2～12/3) 秩父市番場町 黒門通り
- ◆ 12月 「日本の職人展」(12/25～12/30) 東急百貨店 吉祥寺店
- ◆ H31年2月 「日本の職人展」(予定) 大宮そごう
- ◆ H31年5月 「飯能ものづくりフェア」(5/17～5/19) 飯能市飯能中央公園

※イベントに参加する事で、お客様の直接の声を聞き、生活に活かせる商品の開発と、更に秩父のPRと木製品の魅力を多くの人に伝えて行きたいと思います。

平成30年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

事業名： 「世界に向けた秩父材製&秩父生まれの木のおもちゃのPR」

団体名： ツグミ工芸舎

事業の目的・内容

ニュルンベルク（ドイツ）での国際玩具見本市とニュルンベルク市と玩具との関わりを見学し、秩父市においての木材の新しい活用方法のひとつの手段としての木製玩具のありかたを視察研究する

今までの活動状況

- ・誕生祝い品「TUMICCO」製作の継続と販売
- ・秩父材を利用した木製玩具のワークショップ
2018/10 伊佐ホームズ 目黒区 東京都
/11 ミューズパーク 秩父市 埼玉県
/11 ひぐらしストア 秩父市 埼玉県
- ・秩父材を利用した小物、玩具の製作、展示会
2018/06 黄色い鳥器店 国立市 東京都



ワークショップの様子（ミューズパーク）



子供達の作品

これからの活動・行事

- ・秩父市誕生祝い品製作の継続
- ・秩父市雇用創造協議会からの依頼による秩父材と和紙や柿渋を利用した太鼓の製作
- ・秩父材を利用した家具、玩具、生活小物の製作の継続と販売

平成30年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

事業名：西武グループスマイルファミリーフェスティバル(H29,30)
団体名：西武鉄道株式会社

事業の目的・内容

森林の役目や大切さ、木の温もりや優しさ香を伝えるために、西武グループ社員・家族のイベント「スマイルファミリーフェスティバル2017」で、この補助金を活用し、埼玉県森林科学館で購入した木工作品を親子で作り（参加無料）楽しんだ。また、秩父市さまより借用の木の玉プールも盛況で、目的通りの内容となった。併せて「木育」等のポスターを掲示し、「木」に対する意識の向上や久しみを図れ、秩父地域への関心もさらに高まった。


今までの活動状況
【平成29年度】
●スマイルファミリーフェスティバル2017

開催日：平成29年11月18日（土）

開催場所：西武ドーム（メットライフドーム）

参加者：4,981名（スタッフ、ゲスト、出展者等は除く）

内容：1）木工製品の組立てと色塗りを親子で楽しむ（購入の作品 200個すべて使用）
 2）秩父産材や木育、林業の伝統技術などのポスター掲出し秩父地域のPRが図れた。



ポスター掲出



工作を楽しむ親子



木の玉プールで楽しむ子供たち

【平成30年度】
●秩父地域森林林業活性化協議会パンフレットの配布（データをA4パンフに表裏カラー印刷）

イベント：まんぱく2018（主催：文化放送）

平成30年6月1日・国営昭和記念公園



イベント：第9回「農」と里山のシンポジウム（主催：三富地域農業振興協議会）
平成30年9月8日・ウエスタ川越



イベント：第8回 ねりまエコスタイルフェア（主催：練馬区）
平成30年10月21日・としまえん



これからの活動・行事

今後も行政をはじめとする各イベントには積極的に参加し、西武沿線の最大の観光資源として秩父地域のPRを積極的に行い、森林資源の有効活用や秩父産材の利用促進に繋がり、沿線森林・林業の発展に寄与できるように努力して行きます。

また、弊社はこれからも行政やNPO、地元住民のみなさまと共に歩み、親しみやすく安全で安心な「森づくり」を進めて行きます。

●その他（この事業とは別に）

駅の木製ベンチについては今後修繕の予定



秩父産の杉材を使用しています。

平成30年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

事業名：西武グループスマイルファミリーフェスティバル(H30)
団体名：西武鉄道株式会社

事業の目的・内容

社内「イベント」を通して、社員・家族に、木の温もりや木への親しみ、森の大切さ、また林業への関心や興味を深めるために「秩父産材」のPRを図り、沿線最大の観光地である秩父地域への来訪者誘致に繋げる。

補助金で「秩父産材」の木工作品（組立て品）を購入し、親子で工作（参加無料）を楽しんでもらう。また、作品には「秩父地域の森林」と「木育」の両面刷りのA4パンフレットを封入し、併せてコーナーの前面にポスターを掲示し、パンフレットを配布する。


今までの活動状況

活動（開催日）が、平成31年12月1日の一日のみ。事前活動としては、イベントの案内パンフレットを、社員・家族に事前配布。※パンフレットで木工工作「手作りコーナー」をご案内。


これからの活動・行事

イベント実施日 平成31年12月1日（土）

来場者 約5,000人（集計中で、全スタッフ・出展者・ゲスト等は除く。）

秩父産材を使用した木工作品を制作し、西武鉄道グループ社員・家族のイベント「スマイルファミリーフェスティバル2018」のなかで、アトラクションの一つとして工作を行うと同時にポスターの展示とパンフレット（木工作品に同封）の配布を実施した。併せて秩父市さまより、木の玉プールをお借りし「木の玉プールお宝さがし」を実施し、木への親しみや温もりを感じとってもらった。

その他、「ヒーロー」の子供ショーや西武ライオンズOBのトークショーも開催された。



出展風景



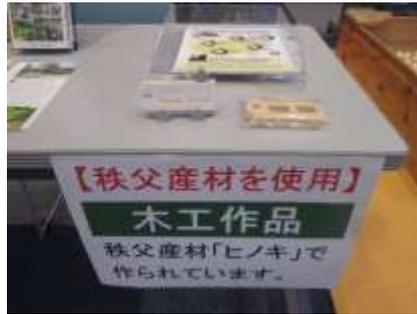
パネル展示（秩父地域の森林・木育）



木工作品が秩父産材であることをPR



木工作品「新型特急車両」にパンフを封入



来場者にパンフを配布



木の玉プール



工作風景



木の玉プールで楽しむ子供たち



木の玉プール「お宝さがし」



参加者

平成 30 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

事業名：秩父・市民参加型伐採プロジェクト (H30)

団体名： 秩父・市民参加型伐採プロジェクト協議会



事業の目的・内容

秩父地域の水源林ではスギ、ヒノキの人工林が多くあるが、国産材の価値が輸入材に押されて低迷していることもあり、手入れが行き届かなくなっているのが地域課題となっている。

こうした現状を踏まえ、市民でも森の手入れや保全活動に関われるきっかけとして平成 28 年夏に皮むき間伐を実施した。本事業はその皮むき材の伐採作業を市民参加型で行い、またその材を有効活用するため、委託製材し、板材にしたものを子供対象に「床はりワークショップ」を開催する。

都市住民にも参加してもらう形で山の上流（森の学習、選木、皮むき、伐採、搬出作業）から中流（粗製材、2次加工）、下流（施工、完成）まで、森の手入れから施工までを一通り確かめることを踏まえ、水の源になる森の保全および森仕事、木に愛着を持つ機会を設け、通常林地に放置される間伐材の有効活用を試験的に実証する。また市民参加による新たな森仕事（産業化）の可能性を若者就労支援等の福祉的な要素も加味して地域の様々な団体と協議を重ね、可能性を追求することを目標とする。



今までの活動状況

【本年度の活動期間以前の取組み】

●平成 28 年 7 月 10 日

参加者親子スタッフ含め 67 名で森の現状を学び、皮むき間伐の勉強会と皮むき体験会を実施



【本年度取組み】

●平成 30 年 7 月 23 日（月）9 時～15 時

選木、伐採作業、2 名



●7 月 25 日（水）9 時～15 時

玉切り、搬出作業、6 名



●8 月 22 日（水）9 時～15 時

伐採作業、玉切り、搬出作業、7 名



- 8月24日(金) 9時～15時
伐採、搬出作業、4名
同日 10時～15時
生活クラブ秩父支部企画
「水の学校・森の学校2018」
伐採作業見学親子10人参加



- 9月10日(月) 10時～15時
柵まるえん製材所(小鹿野町)へ
丸太納品作業(トラック使用)、2名



- 9月14日(金) 13時～15時
製材所見学会、製材行程と材の特性を学ぶ、6名

- ～10月8日(月) 1次製材(粗製材)
を委託業務で実施(柵まるえん)



- 10月12日(金) 10時～18時
1次製材後の自然乾燥のための
栈積み作業、3名



これからの活動・行事

- 2次製材の選別作業(粗製材した材を選別し、2次加工に回す材の選定)
日時: 12月10日(月) 予定
場所: 柵まるえん(小鹿野町)
- 2次製材 委託業務(柵まるえん)
- 床はりワークショップ
日時: 平成31年1月12日(土) 10:00～12:30
場所: 生活クラブ生活協同組合本部2階 託児室
対象: 小学生8名+保護者
内容: 森の話(森の現状、これまでの取り組み経過)、木材の話、床はり作業
- 皮むき間伐材の余材、端材の活用探求
床はりワークショップ以外の活用についてアイデア出しを行い無駄なく使う糸口を見つけていく。

秩父地域森林活用等創出支援事業 実施団体別一覧表

* 丸囲み数字①～⑭は、支援メニュー番号です。

* 【】内は掲載番号です。「H30活動状況報告書まとめ」の目次に対応しています。

No.	団体名(順不同)	地域区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1	ふおれすとキッズよこぜ	秩父・横瀬	⑥横瀬森林体験ツアーズム	⑤障害者との共存を推進する横瀬森林体験事業	⑨掘り起こそう！次世代の森の活人！【⑨-1】	⑨もっと増やそう！次世代の森の活人！【⑨-1】			
2	秩父広域森林組合	秩父・横瀬	①上影森橋立作業道作設事業	②森林施業集約の効率化事業 ⑤木の駅プロジェクト事業		⑧担い手の育成事業【⑧-1】			
3	横瀬町森林組合	秩父・横瀬	⑥将来につなぐ山の花道整備事業	③将来につなぐ山の花道整備事業					
4	秩父樹液生産協同組合	大滝・荒川	①カエデ樹液活用による新たな地域林業モデルの創設	⑤秩父における樹液生産環境の基盤整備		⑧新たな林業展開のための人材育成事業【⑧-2】		⑤「土佐の森式軽架線集材」導入検討事業【⑤-18】	
5	特定非営利活動法人 秩父百年の森	大滝・荒川	①秩父の森林再生のための有用広葉樹育苗事業	④秩父の森林再生のための有用広葉樹育苗事業Ⅱ		⑨未来につなぐカエデの森づくり【⑨-2】			
6	大滝山林振興協議会	大滝・荒川	①森林施業集約の効率化事業	②施業集約化事業の推進のための森林測量支援ソフトの導入		⑨大滝の彩りのある森づくり推進事業【⑨-3】		⑭カエデの植栽イベント事業【⑨-3】	⑭カエデの植栽イベント事業【⑨-3】
7	NPO法人 森	大滝・荒川	⑥秩父がもたらす癒しの空間・秩父からの元気発信プロジェクト						
8	株式会社 献	吉田・小鹿野	②木質チップの圧縮固形化マシン開発	⑤木質チップの圧縮固形化マシン開発	⑤林地放置材の集材・現地破碎・現地散布及びブリケット燃料利用検証試験【⑤-1】				
9	尾ノ内渓谷の自然を守る会	吉田・小鹿野	⑥尾ノ内渓谷の周辺整備と景観の保全	③尾ノ内渓谷、両神山登山道の整備と保全					
10	NPO法人 やまなみ	吉田・小鹿野	⑥浅間山整備事業						
11	お菓子な郷推進協議会	秩父・横瀬		⑤カエデ関連商品販路拡大	⑤秩父カエデ酵母菌活用事業【⑤-2】				
12	カエデの森づくり推進協議会	秩父・横瀬		⑤カエデ炭事業化計画	⑨カエデの森づくり【⑨-4】				
13	公益社団法人 埼玉県農林公社	秩父・横瀬		④新たな工法による獣害防護柵設置 ⑤新規木製品等開発事業			⑤秩父産材木製品開発事業【⑤-3】		
14	金子製材(株)	秩父・横瀬		⑤木質エクステリアの研究開発			⑤玩具から墓場までをテーマに「棺桶製造の調査サンプル制作」-樫材等の有効活用を考える-【⑤-4】		⑤地域材(杉・桧・樫材)を使用した「森の樞」製造流通パイロット事業【⑤-4】
15	アスガキボウ委員会	大滝・荒川		③森林を活用した癒しの空間形成					

No.	団体名(順不同)	地域区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16	有限会社 小林製材所	大滝・荒川		⑤安価で燃焼効率の良い薪ストーブの研究・開発					
17	里山づくり倶楽部	大滝・荒川		③里山を再生しよう計画					
18	秩父山里文化研究会	皆野・長瀬		③稲穂山における里山復興事業	⑨稲穂山における里山復興事業【⑨-5】				
19	埼玉木材チップ協同組合	皆野・長瀬		⑤針葉樹皮を活用した果樹等の試験栽培 ⑤針葉樹パークチップによる舗装試験					
20	NPO法人花の森こども園	皆野・長瀬		③森林を未来へ手渡すゆいっ子プロジェクト					
21	西秩父商工会木材製材業部会	吉田・小鹿野		⑤県産材を用いたベンチキット整備事業					
22	みどりの会	吉田・小鹿野		④シカ等の食害対策の推進					
23	秩父もくもくきかく	秩父・横瀬			⑦秩父の森のおもちゃ美術館”秩父もくもくきかく×東京おもちゃ美術館【⑦-14】		⑤秩父産木材製・卓上織機「ORICCO」手織り教習者養成講座【⑤-16】		
24	田口木工(株)	秩父・横瀬			⑧森林・林業分野における人材育成・雇用への支援【⑧-3】				
25	社会福祉法人秩父正峰会	大滝・荒川			⑦特別養護老人ホーム荒川園食堂内装木質化工事【⑦-1】				
26	荒川源流ログハウス技士会	大滝・荒川			⑦荒川源流 六角堂ログあずまや造りプロジェクト【⑦-2】				
27	特定非営利活動法人長瀬町桜と松を守る会	皆野・長瀬			⑨長瀬の権田山 桜・楓・松林等の森林整備【⑨-6】				⑭ありがとう！300年の松【⑭-1】
28	秩父銘友会	秩父・横瀬				⑤秩父産材を活用した木工品のPR【⑤-5】	⑤秩父産材を活用した木工品のPR【⑤-5】	⑤秩父産材を活用した木工品のPR【⑤-5】	
29	第3のみつ研究会	皆野・長瀬				⑤第3のみつ製造のための獣害ネット設置事業【⑤-6】	⑤第3のみつ製造のための獣害ネット設置事業【⑤-6】	⑤秩父産材を使用した西洋ミツバチの養蜂巣箱、継箱の製造【⑤-6】	⑤秩父農工科学高校食品化学科「農力」育成強化プロジェクト支援事業【⑤-7】
30	長瀬町花の里づくり実行委員会	皆野・長瀬				⑨野土山あじさいの森づくり推進事業【⑨-7】			
31	長瀬やなせ・こびすの会	皆野・長瀬				⑨親子森林環境教育【⑨-8】			
32	秩父千鹿谷郷 ひなた村	吉田・小鹿野				⑤秩父千鹿谷郷 ひなた村特産品開発【⑤-8】	⑤秩父千鹿谷郷 ひなた村特産品開発【⑤-8】		

No.	団体名(順不同)	地域区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
33	(一社)間伐材ウッドチップ舗装協会	吉田・小鹿野				⑤秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動【⑤-9】	⑤秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動【⑤-9】	⑤秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動【⑤-9】	⑤秩父産間伐材を利用した自然素材ウッドチップ舗装の普及活動【⑤-9】
34	株式会社小林建設	秩父地域外				⑦近くの山の木で家をつくらう【⑦-3】	⑦近くの山の木で家をつくらう【⑦-3】	⑦近くの山の木で家をつくらう【⑦-3】	⑦近くの山の木で家をつくらう【⑦-3】
35	島崎木材株式会社	秩父地域外				⑦秩父材の地元エリアでの活用推進事業【⑦-4】	⑦秩父材の地元エリアでの活用推進事業【⑦-4】	⑦秩父材の地元エリアでの活用推進事業【⑦-4】	⑦秩父材の地元エリアでの活用推進事業【⑦-4】
36	株式会社 家づくり工房	秩父地域外				⑦株式会社 家づくり工房			
37	一級建築士事務所 マツザワ設計	秩父地域外				⑦秩父産木材利用促進・普及啓発事業【⑦-5】			⑦竹内邸新築工事【⑦-6】
38	彩の木の家ネットワーク・グリーンエア工法推進グループ	秩父地域外				⑤秩父産「丸み材」を活用した健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発【⑤-10】	⑤グリーンエア工法の開発(その2) 秩父産適寸丸太による中温乾燥材の開発とニーズ調査【⑤-10】		
39	メーブルベークスラブ	秩父・横瀬					⑤林地残材、倒木を活用した木工製品の開発とイベント実施による秩父のカエデの普及活動事業【⑤-17】	⑭秩父のカエデと木育の普及活動事業【⑭-9】	⑭秩父のカエデと木育の普及活動事業【⑭-9】
40	関野木材	秩父・横瀬					⑤藍で染めた木の器技術開発【⑤-11】	⑤藍染木の器の完成へ【⑤-11】	
41	おがの紙漉き伝承倶楽部	吉田・小鹿野					⑤紙漉き技術の伝承とコウゾ(楮)の栽培・増産【⑤-12】	⑤紙漉き技術の伝承とコウゾ(楮)の栽培・増産【⑤-12】	⑤紙漉き技術の伝承とコウゾ(楮)の栽培・増産【⑤-12】
42	一條ランバー株式会社	秩父地域外					⑦秩父産材を活用したフローリング(床材)の作製【⑦-7】		
43	山中工務店	秩父・横瀬						⑦秩父の木を使った家づくり【⑦-8】	
44	株式会社いのうえ工務店	秩父・横瀬						⑦100年先へ、秩父の元気な森を残そう!! プロジェクト【⑦-9】	
45	杉・木挽き・規矩観触会	秩父・横瀬						⑭秩父の杉人が未来につなげる木挽きの技と心【⑭-2】	
46	秩父木工フェア&木育ひろば実行委員会	秩父・横瀬						⑭秩父の木をみんなで一緒にPR事業【⑭-3】	
47	坂本銘木店	秩父・横瀬						⑭秩父産の木材を使用した木製品の生産加工販売【⑭-4】	⑭秩父産の木材を活かした木製品のPRと販売【⑭-4】
48	ツグミ工芸舎	秩父・横瀬						⑭世界に向けた秩父材製&秩父生まれの木のおもちゃのPR【⑭-5】	

No.	団体名(順不同)	地域区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
49	NKサービス株式会社	皆野・長瀬						⑤NKプロダクツの開発(地元材とアルミによるインテリア雑貨の開発)【⑤-13】	
50	伊佐ホームズ株式会社	秩父地域外						⑦森を育てる家づくり(秩父産杉・桧をつかった住宅建築)【⑦-10】	
51	Le plein(ル・プラン)	秩父地域外						⑦みどりの村「村カフェ」【⑦-11】	
52	株式会社千葉工務店	秩父地域外						⑦秩父産材を使用した新築住宅見学会及び広報活動【⑦-12】	
53	株式会社大島博明建築研究所	秩父地域外						⑦オール秩父産木材の住宅(松倉邸新築工事)【⑦-13】	
54	西武鉄道株式会社	秩父地域外						⑭西武グループスマイルファミリーフェスティバル2017(社員・家族を対象とする福利厚生イベントの一環)【⑭-6】	⑭西武グループスマイルファミリーフェスティバル2018(社員・家族を対象とする福利厚生イベントの一環)【⑭-7】
55	有限会社喜多工務店	吉田・小鹿野							⑦秩父産材を使ったレジャー産業倉庫棟新築工事
56	村カフェ&RVパークみどりの村	吉田・小鹿野							⑦ログハウス、トレーラーハウス、インテリア、ガーデン雑貨、木製建具等の製作、販売、施工
57	株式会社秩父ハーブ研究開発	秩父・横瀬							⑤クロモジの新製品開発に伴うパッケージ及びパンフレットの作成【⑤-14】
58	ヨロズ国産木材	大滝・荒川							⑤今年花粉症対策-針葉樹を使った製品開発【⑤-15】
59	株式会社ウッディーコイケ	秩父・横瀬							⑧山仕事の人材確保事業【⑧-4】
60	東京土建一般労働組合豊島支部	秩父地域外							⑭第2回ウッドLifeフェス(子ども工作まつり)
61	里山アートピック実行委員会	皆野・長瀬							⑭里山アートピック
62	秩父・市民参加型伐採プロジェクト協議会	秩父・横瀬							⑭秩父・市民参加型伐採プロジェクト【⑭-8】
合 計			10件	23件	10件	16件	14件	22件	20件